

令和6年度版

真岡市の教育



石川県の鹿島小学校とオンライン交流をする児童の様子(長田小学校にて)

令和7年 1 月
真岡市教育委員会

は し が き

「令和６年度版 真岡市の教育」は、真岡市教育委員会における令和５年度事業の取組実績及び令和６年度の事業の概要を、分野ごとに分かりやすくまとめたものです。

真岡市の教育行政を御理解いただくための資料として、御活用ください。

なお、令和６年度の事業につきましては、内容等に変更が生じる可能性があります。御了承ください。

令和７年 １月
真岡市教育委員会

目次

真岡市の概要	1
--------------	---

I 真岡市教育大綱	2
-----------------	---

II 真岡市教育行政の概要	6
---------------------	---

教育委員会	6
-------------	---

事務局機構	7
-------------	---

令和6年度教育予算	8
-----------------	---

総合教育会議	10
--------------	----

III 事業の概要	11
-----------------	----

学校教育	11
------------	----

学校教育の推進	11
---------------	----

1. 学習指導	11
---------------	----

2. 児童・生徒指導	14
------------------	----

3. 教育相談	14
---------------	----

4. 中学生リーダー研修会	15
---------------------	----

5. 国際化に対応した教育	16
---------------------	----

6. 外国人児童生徒教育	17
--------------------	----

7. 情報教育	18
---------------	----

8. 特別支援教育	20
-----------------	----

9. 人権教育	20
---------------	----

10. 健やかな体づくり	20
--------------------	----

11. 学校を核とした地域づくりの推進	21
---------------------------	----

教育環境の整備	23
---------------	----

1. 教職員の働き方改革の推進	23
-----------------------	----

2. 教員の指導力向上	23
-------------------	----

3. 学校施設整備の充実	25
--------------------	----

4. 教育費等の支援	26
------------------	----

5. 学校保健	27
---------------	----

6. 学校給食センター	28
-------------------	----

7. 自然教育センター	29
-------------------	----

8. 科学教育センター	31
-------------------	----

社会教育	33
------------	----

生涯学習の振興	33
---------------	----

1. 市公民館・分館	33
------------------	----

2. 地域公民館	34
----------------	----

3. 青年女性会館	36
-----------------	----

4. にのみや“とちおとめ”ホール(生涯学習館)	36
--------------------------------	----

5. 図書館事業	36
----------------	----

6. 青少年教育	38
----------------	----

7. 成人教育	40
---------------	----

8. 団体育成	42
---------------	----

文化振興	44
------------	----

1. 文化芸術	44
---------------	----

2. 文化財	48
--------------	----

3. KOBELCO真岡ちごホール(真岡市民会館)	52
---------------------------------	----

スポーツの振興	53
---------------	----

1. スポーツ・レクリエーションの振興	53
---------------------------	----

2. 体育施設	55
---------------	----

IV 資料編	57
--------------	----

施設の概要と利用状況等の推移	57
----------------------	----

学校教育	57
------------	----

1. 児童生徒学級数・教職員数 ..	57
--------------------	----

2. 学校教育関係施設一覧	59
---------------------	----

3. 施設利用状況の推移	61
--------------------	----

社会教育	62
------------	----

1. 社会教育関係施設一覧	62
---------------------	----

2. 施設利用状況の推移	64
--------------------	----

教員研修の実施状況	65
-----------------	----

教育国際交流の実績	66
-----------------	----

文化財一覧	70
-------------	----

指定文化財	70
-------------	----

1. 国指定文化財 (5 件)	70
-----------------------	----

2. 栃木県指定文化財 (62 件) ..	70
-----------------------	----

3. 真岡市指定文化財 (143 件) ..	72
------------------------	----

登録文化財	76
-------------	----

1. 国登録文化財 (2 件)	76
-----------------------	----

2. 真岡市登録文化財 (14 件) ..	76
-----------------------	----

附属機関	77
------------	----

学校教育	77
------------	----

1. 学校教育関係附属機関	77
---------------------	----

社会教育	78
------------	----

1. 社会教育関係附属機関	78
---------------------	----

真岡市の概要

真岡市は、栃木県の南東部、北緯36度、東経140度に位置し、東に八溝山地、西に鬼怒川を抱える自然環境豊かな都市であります。

平成21年3月23日に二宮町との合併により、面積は167.34km²となりました。また、現在の人口は78,571人となっています。

主要交通網は、国道294号が市中心部を走り、鉄道は、第三セクターの真岡鐵道(株)が経営する真岡線が通っています。また、北関東自動車道が全線開通し、東北自動車道への連絡が便利になりました。

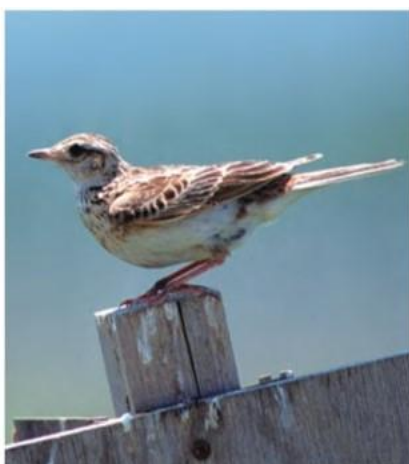
真岡市は、首都圏から100km圏内にあり、東京から宇都宮線・水戸線・真岡鐵道を利用すると、約2時間の距離にあります。

- ・市制施行 昭和29年10月1日
 - ・面積 167.34km²
 - ・世帯数 33,181世帯
 - ・人口 78,571人
- (令和6年4月1日現在) ※毎月統計調査人口

市の花 「わた」



市の鳥 「ひばり」



市の木 「けやき」



I 真岡市教育大綱（令和2年度～令和6年度）

教育大綱策定の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定に基づき、地方公共団体の長が、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものです。

真岡市教育大綱は、「真岡市総合計画 2020-2024」が本市の教育における「大綱」に該当すると位置付けられることから、「真岡市総合計画 2020-2024」をもって本市の教育に関する総合的な施策の目標や方針として策定しました。

「真岡市総合計画 2020-2024」（真岡市ホームページ）

https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/sogoseisaku/gyomu/seisaku_keikaku/1/1017.html



施策の方向性

「人づくり」～豊かなこころアップ！～

将来を担う子どもたちに確かな学力を身に付けさせるとともに、思いやりの心や豊かな情操を育み、心身共に健康でたくましいもおかっ子の育成に努めます。また、だれもが心豊かに生きがいを持って暮らすために、学習環境やスポーツ・レクリエーション施設の整備を推進し、学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくりに努めます。

施策の内容

施策1 確かな学力の育成

すべての小中学校で、電子黒板やタブレット、デジタル教科書等のICTを活用した授業を展開し、学力の向上が図られています。また、指導する教員は、校務支援システムの活用等により働き方改革を進めることで、子どもに向き合う時間を確保し、教育の質を高めています。

＜具体的な施策＞

学力向上を図るための教育環境の整備を推進します。

- ・小中学校が連携した「分かる・できる・定着する」学習指導の推進
- ・分かる授業を推進するためのICT機器の整備と活用



施策２ 心の教育と健やかな体づくり

道徳教育や集団活動を通して、生命や人権を尊重する心、人への思いやりの心等が育まれているとともに、正しい食習慣や運動習慣を身に付けながら、健やかな体づくりが進められ、基礎体力が向上しています。

＜具体的な施策＞

生命や人権を尊重し、人への思いやりの心や集団生活のルールを学ぶ機会をつくります。

・教育相談の充実

運動やスポーツを楽しめる環境を整えます。

・体育授業の改善

・地域や家庭と連携した日常的な運動量の増加



施策３ 国際化に対応した教育

社会環境が大きく変化しグローバル化が一層進展する中で、国際的な視野を持ち、豊かな語学力やコミュニケーション能力を身に付けた児童生徒が育成されています。

また、国籍や文化の違いに関わらず、お互いに支え合い共に生きていく力が育まれています。

＜具体的な施策＞

国際交流や英語教育の充実に向けた環境整備や指導者の人材確保に努めます。

・外国人とのコミュニケーション能力の向上



施策４ 生涯学習の推進

市民が生涯にわたり自主的、積極的に学習に取り組み、市民一人一人が学んだことを社会生活に活かす等、生きがいを持って心豊かに生活をしています。

＜具体的な施策＞

市民や自主活動団体の生涯学習活動を支援するため、学習機会や学習の場の提供、学習環境の整備に努めます。

・多様な学習機会の提供

・生涯学習拠点（図書館）の整備



施策 5 青少年の健全育成

青少年が将来に夢と希望を持ち、豊かな感性と創造性を養いながら心豊かにたくましく成長しています。

＜具体的な施策＞

地域と共に青少年の健全育成を図るための支援や青少年を取り巻く環境の整備に努めます。

- ・青少年を健全に育成する環境づくり
- ・多様な分野でリーダーシップを発揮できる人材の育成



施策 6 生涯スポーツ・レクリエーションの振興

市民一人一人が、自主的にスポーツ・レクリエーションを行うことにより、心身ともに健康で活力ある生活を実現しています。

＜具体的な施策＞

スポーツ・レクリエーション活動の機会の提供と施設等の環境整備の充実を図ります。

- ・スポーツ競技力向上の推進と施設の整備
- ・市民ひとり1スポーツを目指したスポーツの推進



施策 7 文化芸術の振興と文化財の保護・継承

文化芸術活動の推進により、市民だれもが文化芸術に触れ親しみ学ぶ機会が拡充されています。文化財については、適切な保存管理と伝統文化の継承がされています。

＜具体的な施策＞

文化芸術活動の企画運営と環境整備、文化活動を担う人材及び文化団体の育成支援を行います。

文化財所有者（管理者）及び保存団体が実施する保存管理や事業について指導・助言を行い、文化財の保護や啓発の機会を提供するための環境を整備します。

- ・市民会館運営事業
- ・真岡市文化協会支援事業
- ・久保記念館観光文化交流館美術品展示館・久保資料室運営事業
- ・まちかど美術館運営事業



施策 8 国際交流の推進

本市住民が国籍や言葉の壁を越えて、主体的に国際交流を進め、相互の生活習慣や文化を理解、尊重し合い、共に地域社会の一員として安心して暮らせるまちとなっています。

＜具体的な施策＞

国際交流を行う団体との連携を図り、交流の場を拡充します。

多言語による相談体制を充実させ外国人住民が安心して暮らせる環境を整備します。

- ・国際交流の推進
- ・国際交流を担う人材育成
- ・外国人住民のコミュニケーション支援



Ⅱ 真岡市教育行政の概要

教育委員会

議席	職名	氏名	現任期
-	教育長	やまなか たかお 山中 孝雄	令4.4.1～令7.3.31
1	委員 (教育長職務代理者)	おうら みちこ 邑楽 美智子	令3.10.1～令7.9.30
2	委員	おぐら じゅんこ 小倉 淳子	令4.10.1～令8.9.30
3	委員	よこやま つよし 横山 剛史	令5.10.1～令9.9.30
4	委員	いざわ まなぶ 伊澤 学	令6.10.1～令10.9.30



山中教育長



邑楽委員



小倉委員



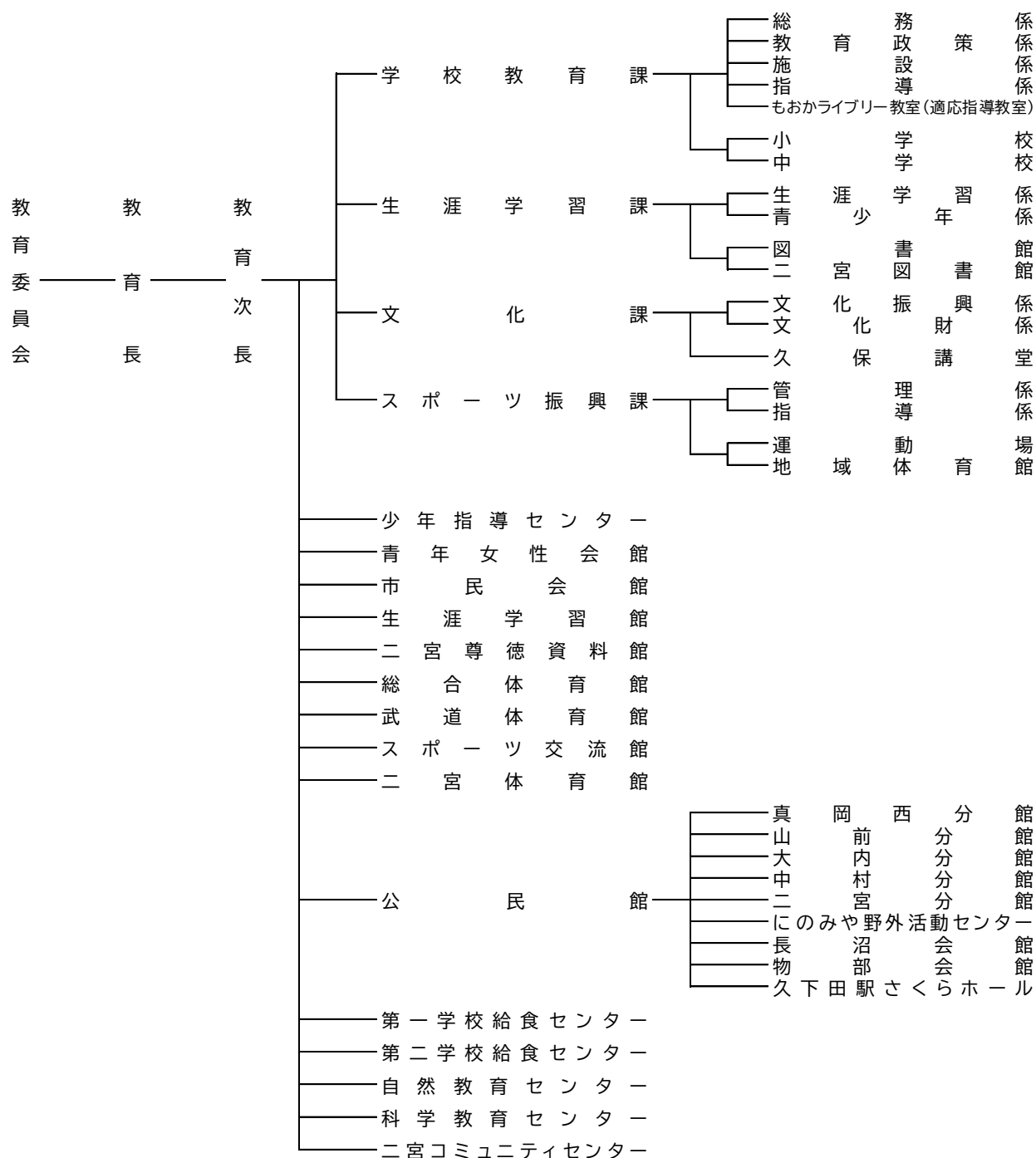
横山委員



伊澤委員

令和6年10月1日現在

事務局機構



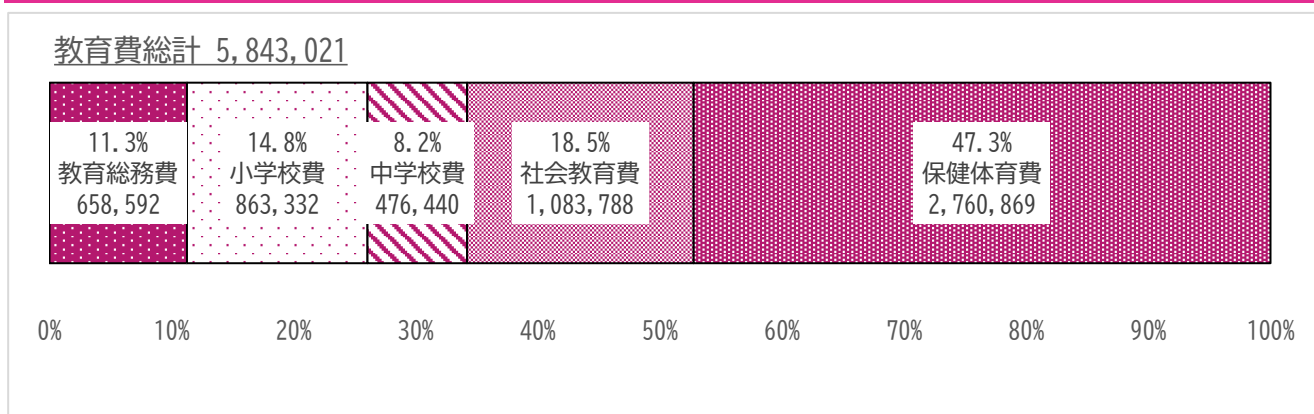
令和6年度教育予算

❖ 令和6年度真岡市教育予算(単位:千円)

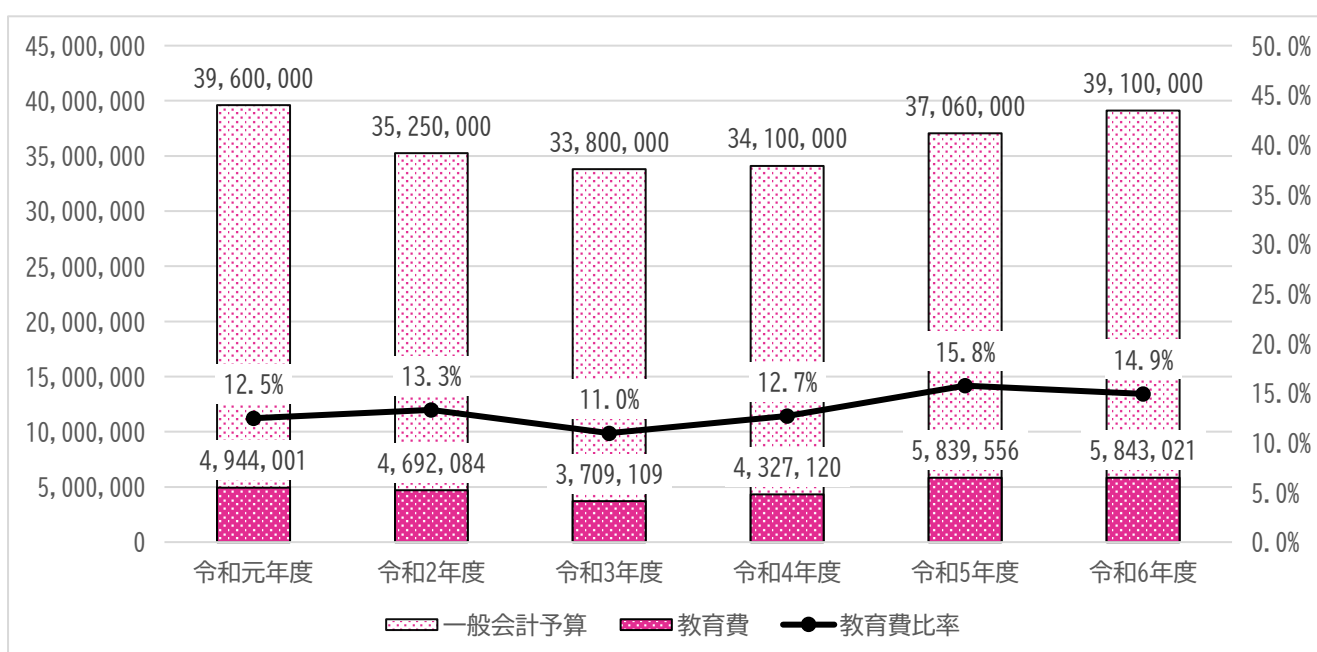
項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
一般会計(当初予算)	39,100,000	37,060,000	2,040,000
教育費	5,843,021	5,839,556	3,465
教育総務費	658,592	720,578	▲ 61,986
教育委員会費	3,859	3,927	▲ 68
事務局費	422,418	403,731	18,687
教育振興費	232,315	312,920	▲ 80,605
小学校費	863,332	777,455	85,877
学校管理費	590,936	595,323	▲ 4,387
教育振興費	272,396	182,132	90,264
中学校費	476,440	409,261	67,179
学校管理費	328,017	271,650	56,367
教育振興費	148,423	137,611	10,812
社会教育費	1,083,788	970,591	113,197
社会教育総務費	96,845	85,852	10,993
文化財保護費	37,171	36,416	755
公民館費	286,994	248,291	38,703
二宮コミュニティセンター費	70,621	80,521	▲ 9,900
市民会館費	130,301	130,144	157
図書館費	155,743	105,141	50,602
青年女性会館費	0	0	0
芸術文化振興費	95,660	93,403	2,257
自然教育センター費	154,381	132,087	22,294
科学教育センター費	44,628	47,426	▲ 2,798
少年指導センター費	11,444	11,310	134
保健体育費	2,760,869	2,961,671	▲ 200,802
保健体育総務費	112,725	100,107	12,618
体育施設費	419,925	914,736	▲ 494,811
学校給食施設費	2,228,219	1,946,828	281,391

Ⅱ 真岡市教育行政の概要

❖ 令和6年度教育予算目的別内訳(単位:千円)



❖ 一般会計・教育費予算及び教育費比率推移(単位:千円)



総合教育会議

1. 設置の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第1項の規定に基づき、地方公共団体の長と教育委員会が意思疎通を図り、教育政策の方向性を共有し、連携して教育行政の推進を図るため設置することとされました。（施行日：平成27年4月1日）

なお、総合教育会議は、市長と教育委員会をもって構成されています。

2. 協議・調整する事項

- (1) 当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱
- (2) 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
- (3) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置

❖ 協議事項

令和5年度	① 部活動の在り方について ② コミュニティ・スクールの導入について
令和4年度	① 複合交流拠点施設について ② 国際教育について
令和3年度	① コミュニティ・スクールについて ② 学力向上の取組について
令和2年度	① 真岡市教育大綱について ② GIGAスクール構想について
令和元年度	① 学校の働き方改革について ～こども達と向き合う時間の確保～

3. 会議の公開、議事録の公表

総合教育会議は原則公開します。ただし、個人の秘密を保つため必要がある場合等、協議内容によっては非公開とする場合があります。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の第1条の4第7項の規定により、総合教育会議の議事録の作成及び公表は市長の努力義務となっています。総合教育会議の議事録は、会議の非公開部分を除き、真岡市ホームページにおいて公表しています。



令和5年度「総合教育会議」の様子

https://www.city.moka.lg.jp/kosodate_kyoiku/gakko_kyoiku/kyoiku_iinkai/18251.html

Ⅲ 事業の概要

学校教育

学校教育の推進

1. 学習指導

「ふるさと真岡を愛し、世界で活躍する真岡っ子の育成」のために、真岡市総合計画の施策1-1に確かな学力を掲げ、以下の内容に取り組んでいます。

(1) 学力調査の活用

全国学力・学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査に加え、市独自で真岡市総合学力調査を年に2回実施しています。市内各校では、真岡市総合学力調査の結果から、児童生徒の学力や学習状況等を分析・評価し、実態を把握して改善策を考え、実践していきます。

前年度の第2回真岡市総合学力調査結果を分析・評価し、前年度末までに、市内各校は1サイクル目の「学力向上改善プラン」を作成します。そして、4月から学力向上に向けた取組を実践していきます。7月から8月に、4月の各種学力調査の結果を分析・評価し、実態に合わせて2サイクル目の「学力向上改善プラン」を作成します。この具体策の実践を9月から行い、学力向上につなげていきます。11月から12月の真岡市総合学力調査で、学力が向上しているか検証します。

真岡市の学力調査

学校	学年	4月	5月～10月	11月～12月	12月～3月	新年度
小学校	1年	基礎学力の定着				2年へ
	2年					3年へ
	3年	市総合	(7月) 4月調査結果返却 →データの分析	市総合	(1月～2月) 11月調査結果返却 →データの分析	4年へ
	4年	とちぎっ子		市総合		5年へ
	5年	とちぎっ子		市総合		6年へ
	6年	全国	(7月または8月) 学力向上推進研修会	市総合	(2月) 学力向上推進研修会	中1へ
中学校	1年	市総合	(8月) 学力向上改善プラン (2サイクル目)作成	市総合	(3月) 次年度学力向上改善プラン (1サイクル目)作成	中2へ
	2年	とちぎっ子		市総合		中3へ
	3年	全国		中学校での学習の理解を深める		

※授業改善は年間を通して行う

市総合・・・真岡市総合学力調査（真岡市独自の調査 H29～）
 とちぎっ子・・・とちぎっ子学習状況調査（栃木県による調査）
 全国・・・全国学力・学習状況調査（国による調査）

(2)「真岡っ子を育てる授業スタイル」に基づく授業づくりの推進

新しい時代に求められる資質・能力を育成するため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「真岡っ子を育てる授業スタイル」に基づく授業づくりを推進します。

真岡っ子を育てる授業スタイル

★「まずは導入」を徹底する

○導入は授業の原点、導入を大切に授業をする

- ・本時に何を指導するのか明確なビジョンをもつ。
- ・本時のねらいと合致した「めあて」を示し、授業が終わったときの姿を子どもと共有する。
- ・子どもが学びに向かうための必要感を持ち、主体的に追究するような、身近で魅力ある「課題」の内容と提示の仕方を工夫する。（真岡の「財」を教「材」に生かしてみよう）

★「次は指導法」を心がける

○「教師主体の教える授業」から「子ども主体の学ぶ授業」への転換を図る
～「分かりやすく説明する」から「理解できるように働きかける」に～

- ・「しゃべりすぎない」「教えすぎない」指導を実践する。
⇒ 子どもが気づき考えながら学べる手立てを講じる。
- ・ペアやグループ、全体で協働するための必要感のある学習活動を展開する。
⇒ 必要感のある課題を解決しようとして初めて、「主体的に考え、対話をしようとし、深い学び」に向かっていくことになる。
- ・「ねらい」の達成のために ICT を効果的に活用する。

★「最後はまとめと振り返り」で定着させる

○めあてとまとめ・振り返りはセットで実施する

- ・本時の「めあて」が達成できたか、授業の中での振り返りを大切にする。
- ・分かりやすい「まとめ」と1人1人の学びを深める「振り返り」を心がける。
- ・授業と結びついた必要感のある家庭学習に取り組ませることでさらに定着を図る。



◎単元のとまりを見通し授業を構想しよう

育成を目指す資質・能力は…

何ができるようになるか ⇒ 単元の学習を終えたときの子どもたちの姿をより具体的に設定

何を学ぶか ⇒ 毎時間のねらいを適切に設定

どのように学ぶか ⇒ 毎時間の最適な学び方を設定

真岡っ子を育てる授業スタイル～授業改善の手立て～

★「まずは導入」を徹底する

○導入は授業の原点、導入を大切に授業をする

- ・学習課題の内容と提示の仕方を工夫する。
- ・めあての曖昧さをなくす。
例) ①登場人物の気持ちを考えよう②場面が変わったときのごんや兵十の気持ちを想い、理由を明らかにして書くことができる(ようになろう)

★「次は指導法」を心がける

○「教師主体の教える授業」から「子ども主体の学ぶ授業」への転換を図る
～「しゃべりすぎない」「教えすぎない」指導を実践する～

- ・子どもが自分で解決する見通しがもてるように支援する。
- ・児童生徒が一人で解決する時間を確保する。
- ・ペアやグループ、または一斉で多様な考えに触れる機会を設ける。
- ・深い学びにつながる意図的な指名をする。

★「最後はまとめと振り返り」で定着させる

○めあてとまとめ・振り返りはセットで実施する

- ・「まとめ」「振り返り」の時間を確保する。
- ・「まとめ」では、本時の授業の要点や考えを整理する。
- ・「振り返り」では、何を振り返りたいのかを明確にして、視点等を具体的に提示して記述できるようにする。

- ・授業に入る前に、子どもの反応を想定しておきましょう
- ・ねらいを達成するために効果的な ICT の活用方法を検討しましょう

導入時や一斉・ペア・グループでの対話から引き出したい

「あ・い・う・え・お」



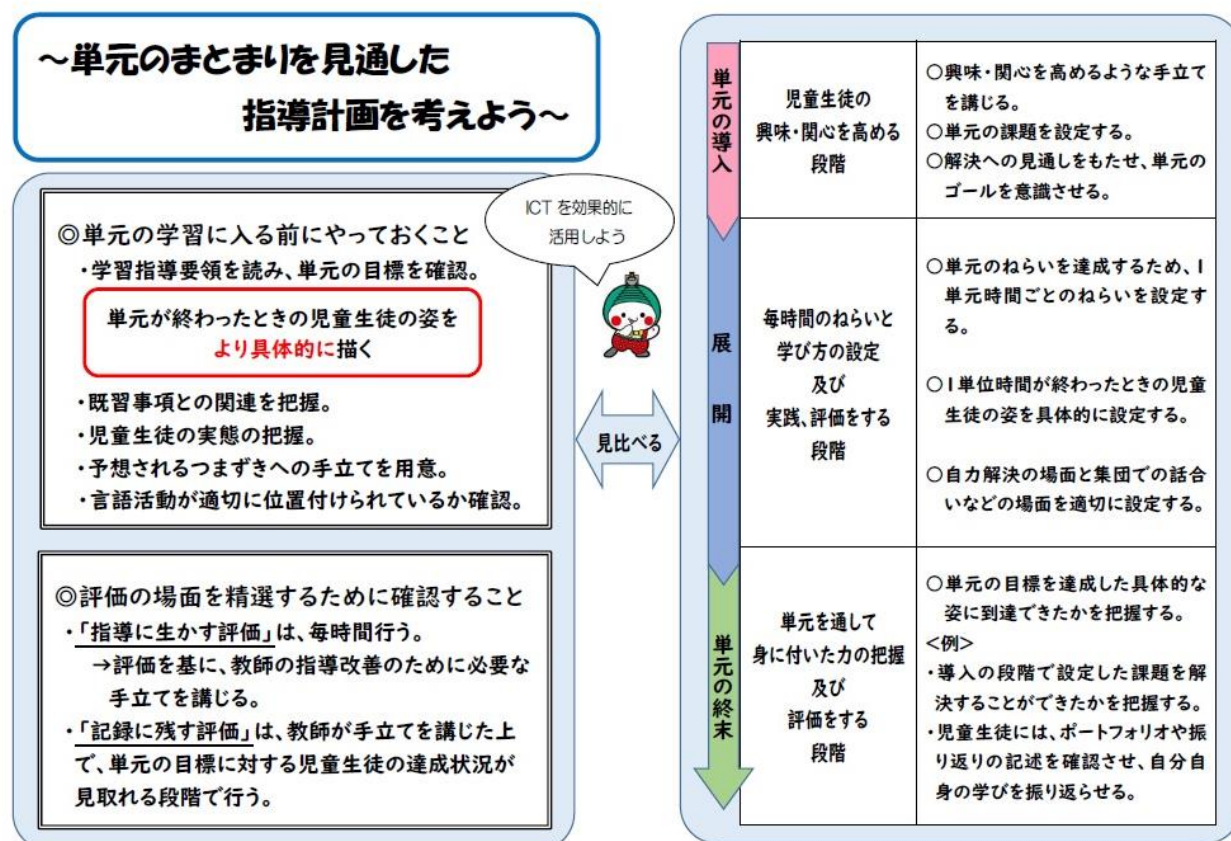
あ…「あっ、そうか。」
「あれ？」
い…「いいね。」
う…「うーん。」
え…「えっ。」
お…「おもしろそう。」
「おっ。」

評価の観点で「知識・技能」の授業では、適用問題に取り組ませる場合もある。

<本時の評価規準>

- ・「おおむね満足できる」状況 (B) と「努力を要する」状況 (C) の違いは、どこにあるのかを把握しておく。
- ・「十分満足できる」状況 (A) を想定しておく (A の姿は多様である)。

Ⅲ 事業の概要



(3)「分かる・できる・定着する」指導の充実

基礎的・基本的な知識・技能を習得し活用できるように、「分かる・できる・定着する」までの指導の充実を図ります。

(4)ICT機器を活用した授業の展開

全ての小中学校で、1人1台端末、電子黒板、デジタル教材等のICTを活用した授業を展開し、学力の向上を図ります。

(5)社会教育施設との連携

○科学教育センター

市内小中学校児童生徒の理科における確かな学力の育成を図るため、当センターの指導主事を学校に派遣し、授業の質の向上及び理科専科教員育成を目的とした理科担当者研修を実施します。また、教員の観察実験の指導技能向上や安全指導を目的とした理科研修会を計画的に実施します。

2. 児童・生徒指導

児童・生徒指導とは、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動のことです。

各学校では、教育活動全体を通じて、一人一人の児童生徒の健全な成長を促し、児童生徒自ら現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力の育成を図ります。

(1)真岡市幼児・児童生徒指導研究会

幼稚園及び保育園・保育所、小学校、中学校の児童生徒指導担当者が児童生徒理解を深め指導の充実を図るための研修を行います。

(2)真岡市生徒指導研究会

各中学校の生徒指導主事が生徒指導に関する課題の解決策を協議したり、情報の共通理解を図ったりしています。

(3)不登校対策のための小中連携事業

各中学校区の小中学校の担当教員が児童生徒の情報交換を行い、学校段階の円滑な接続を図ります。

(4)真岡市いじめ・不登校対策主任連絡会議

いじめの未然防止等の対策や不登校対策について、市としての方策を検討し、組織的に取り組みます。

3. 教育相談

教育相談は、児童生徒それぞれの発達に即して、好ましい人間関係を育て、生活によく適応させ、自己理解を深めさせ、人格の成長への援助を図るものです。そのために、全ての教職員が全ての児童生徒に対してあらゆる教育活動を通して、好ましい人間関係の育成と学校生活への適応、自己理解の深化と人格の成長への援助を図ります。また、教育相談の目的を達成し、その役割を機能させるために、当該児童生徒に対してだけでなく、家庭や関係機関との連携を図りながら、適時・適切に指導・助言を行います。

❖ 心理相談員

臨床心理や発達課題に関して専門的な知識・経験を有する公認心理師（臨床心理士）2名を配置しています。専門的な立場から、児童生徒のカウンセリング及び保護者や教職員への相談・助言を行います。また、知能検査を行い、就学に関する内容について保護者に適切な助言及び指導を行います。

Ⅲ 事業の概要

❖ スクールソーシャルワーカー

問題を抱える児童生徒やその家族に対して、環境への働きかけや関係機関等との連絡・調整など直接的な指導を効果的、継続的に行うために、市独自のスクールソーシャルワーカーを1名配置しています。

具体的には、電話や面接による教育相談の他、学校訪問や家庭訪問を行い、複雑化、多様化する児童生徒の状況に対し、支援を行います。また、問題が複雑に絡み合い、特に学校だけでは解決が困難なケースには、積極的に関係機関と連携し対応します。

❖ 学校支援相談員

児童、保護者、教職員が悩み等を気軽に話せ、ストレス等を和らげることのできる第三者的な存在として、「学校支援相談員」を配置しています。現在は、県のスクールカウンセラーの相談機会の少ない大規模小学校3校（真岡小・真岡東小・真岡西小）に、学校支援相談員を合計で5名配置し、児童へのカウンセリングやカウンセリング等に関する教職員及び保護者への助言・援助を行います。

❖ もおかライブラリー教室

不登校傾向にある児童生徒に対し、専門的な指導の必要性から教育支援センターを設置し、「もおかライブラリー教室」として運営しています。在籍校への復帰や社会的な自立のための環境を整備するため、専任の担当教諭1名の他、真岡市が任命した教育相談員を配置し、通室児童・生徒に対するカウンセリングや教科学習の指導を行っています。さらに、校外学習や体験学習の小集団の活動や作品展・出展のための各種創作活動を通して、学校生活や社会生活に溶け込めるように支援を行います。

< 真岡教室 >

所在地	真岡市田町1344番地 真岡市青年女性会館内
電話番号	0285-83-9488

< 二宮教室 >

所在地	真岡市石島893番地15 二宮コミュニティーセンター内
電話番号	0285-81-5058

4. 中学生リーダー研修会

ふるさと真岡を愛し、本市の将来を担う、次世代のリーダーを育成するため、中学生リーダー研修会を実施しています。研修会を通して、社会的な活動を積極的に実践し、ひいては将来、社会に大きく貢献できる人材を育成します。

具体的には、市内の中学校9校各校から生徒会等で学校のリーダーとして活躍が期待される生徒として推薦された4名、計36名を集め、研修を行います。他校の生徒と意見を交えながら、視野を広げたり、課題を解決したりし、リーダーとしての考え方や視野を広げることをねらいとしています。



令和5年度「リーダー研修会」の様子

5. 国際化に対応した教育

❖ 教育国際交流

真岡市では国籍や文化の違いを越えて、互いに支え合い共に生きていくための力を育成するため、30年以上にわたり相互交流を基本とした教育国際交流に取り組んできました。アメリカ、台湾、オーストラリアに市内全中学校の姉妹校や交流校があります。

令和2年度から令和4年度はコロナ禍により各国との直接交流を中止しましたが、令和5年度には市内全ての中学校で派遣による交流を再開しました。

本事業を体験した生徒の中には、卒業後も数十年にわたり交流を続けている市民もたくさんいます。このことから、本市ではその効果を高く評価しており、教育国際交流事業を今後も継続し、関係性を向上させていく計画です。

令和5年度には、これまで交流相手校の無かった二宮地区三校の交流校としてハーヴィー・シニア・ハイスクールへの生徒派遣を開始しました。

また、中学校での教育国際交流につなぐための事業として、小学校5・6年生を対象とした「もおかイングリッシュサマーキャンプ」を令和5年度も実施しました。

令和6年度も、教育国際交流やもおかイングリッシュサマーキャンプの実施を進めていきます。



令和5年度「教育国際交流」の様子



令和5年度「教育国際交流」の様子



令和5年度「もおかイングリッシュサマーキャンプ」の様子

❖ 英語教育

真岡市ではグローバル化が一層進展する中で、国際的な視野を持ち、豊かな語学力やコミュニケーション能力を身に付けた児童生徒を育成しようとしています。そのため、小・中学校における英語授業の充実を目指し、教師の指導力向上、支援員の派遣等の充実に取り組んできました。

教師の指導力向上としては、平成29年度から3年間、小学校担任を対象とした英語指導力向上研修を実施しました。また、平成29・30年度には小学校英語指導の実践研究を進めました。令和元・2年度には小・中連携による英語指導の実践研究を進め、新学習指導要領全面実施に対応するための準備を進めました。平成30年度から令和2年度には、真岡市教育委員会英語教育通信“*We Can!*”を発行し、小学校び中学校の指導力向上に努めてきました。

また、英語指導環境の充実のため、市内全小・中学校に英語指導助手(AET※¹)と外国語活動支援員(JTE※²)を継続的に配置しています。(右図参照)これにより小学校



「JTEによる支援」の様子

学年	英語指導助手
小学校1～3年	JTE
小学校4～6年	AET
中学校1～3年	AET

Ⅲ 事業の概要

外国語活動、外国語科全ての授業に、AETもしくはJTEが配置され、聞くこと、話すことを重視した外国語活動、外国語の指導が実践されています。加えて市内全小学校には英語指導力向上専門員を派遣し、外国語を指導する教員の指導力向上に取り組んでいます。中学校には常駐のAETを市内全校に配置しています。

令和3年度から令和5年度には中学校英語担当者連絡会議を実施し、英語を用いた言語活動を通した中学校での英語指導や小中連携を踏まえた指導について理解を深め、市内中学校英語指導者の指導力向上の推進を図りました。

令和6年度は中学校英語指導者研修を実施し、より一層の指導力向上を図る予定です。

※1 AET…外国語を母語とする英語指導助手

※2 JTE…日本人の英語指導助手

❖ 英語検定・漢字検定料助成事業

言葉や文化の持つ素晴らしさを知り、自分の考えや思いを伝え合い、新たな見方・考え方を創造できる真岡っ子の育成を目指し、英語検定料・漢字検定料の2分の1以内で定められた額を助成しています。



令和5年度助成実績

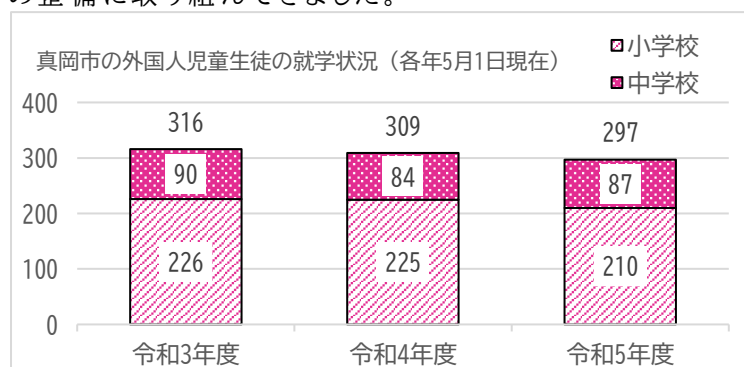
検定・級	英語検定							漢字検定											計	
	5級	4級	3級	準2級	2級	準1級	1級	10級	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	準2級	2級	準1級		1級
小学校	35	15	4	4	0	0	0	1	3	0	6	9	5	1	1	0	0	0	0	84
中学校	13	32	82	43	7	1	1	0	0	0	0	0	12	12	23	4	4	0	0	234
計	48	47	86	47	7	1	1	1	3	0	6	9	17	13	24	4	4	0	0	318

6. 外国人児童生徒教育

真岡市には、多くの外国人が居住しています。市の総人口に占める割合は県内一位となります。また、居住外国人の出身国構成も多様化してきています。今後、本市のグローバル化は一層進むと考えています。そのため、本市では共生の視点に立った外国人児童生徒教育の充実を目指しています。

真岡市ではこれまで、市内小学校5校、中学校3校を外国人児童生徒教育拠点校として位置づけ、これまで日本語教室の充実など環境面の整備に取り組んできました。

継続事業として、令和5年度においても市内に多く在住するポルトガル語、スペイン語に対応できる日本語指導助手を拠点校8校に巡回派遣し、児童生徒の学習支援の充実を図ってきました。また、7月には次年度就学予定児童のいる家庭に連絡を取り、就学予定外国人児童



Ⅲ 事業の概要

保護者説明会を実施しました。さらに、不就学児童生徒の調査、就学促進の取組みを実施継続してきました。

その他、6月には市内在住の外国につながるのある中学生及び保護者を対象に日本の学校生活や高校進学に関する情報を提供するため、多言語による進学ガイダンスを実施しました。

前述の通り、市内各拠点校では児童生徒の多言語化が進みつつあります。そのため、令和2年度には多言語通訳端末を拠点校ごとに2台、計16台を配置し、令和3年度には企業版ふるさと納税を活用し、新たに4台を配置しました。令和5年度には新たに3台を市予算で配置し、計23台を配置しました。令和4年度には多言語WEB連絡帳システム「E-Tra ノート」の運用を開始しましたが、令和5年度からはeメッセージ※³の運用を開始し、多言語による学校と保護者のコミュニケーションを支援しています。

今後も実態に即した支援事業を検討していく予定です。

※3 eメッセージ…多言語対応の保護者一斉メール配信システム

7. 情報教育

❖ ICT教育

ICT(情報通信技術)を活用した学校教育を推進するため、ICT環境の整備を進めICT(1人1台端末、電子黒板、デジタル教材等)を活用し、児童生徒の学習への興味・関心を高めるとともに、分かりやすい授業や主体的・対話的で深い学びを実現することによって、確かな学力の育成を図ります。

また、校務の情報化を進め、事務作業の効率化により教員の負担を軽減することで、児童生徒に向き合う時間の確保を図っています。(次ページにGIGAスクール構想の推進イメージを掲載しています。)

下記リンクよりICT教育の推進に関わる資料について見ることができます。

ICT教育のページ(真岡市教育委員会ホームページ)

https://www.moka-tcg.ed.jp/kyouiku_01/494f301acbab85af507f76b955a57680



GIGAスクールのページ(真岡市教育委員会ホームページ)

https://www.moka-tcg.ed.jp/kyouiku_01/giga-school



真岡「ふるさと学習」(真岡市教育委員会ホームページ)

https://www.moka-tcg.ed.jp/kyouiku_01/moka-furusato



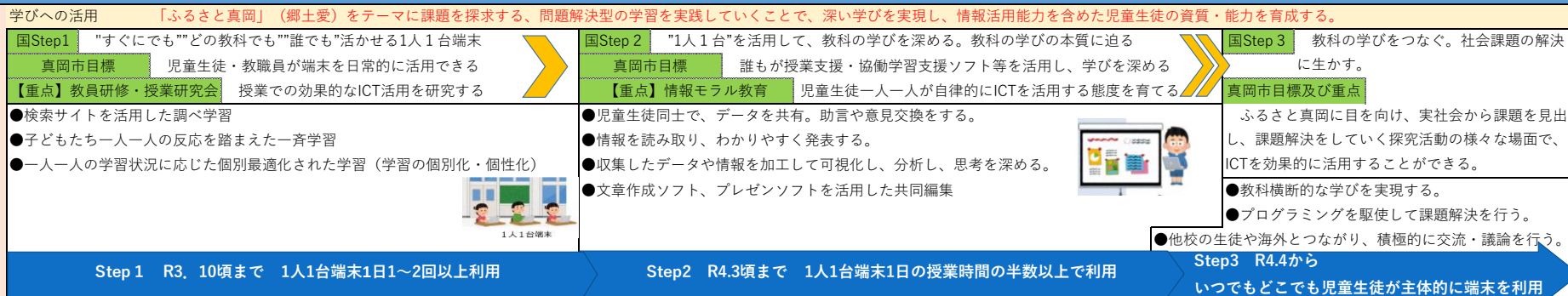
R5 夏休み小学生プログラミング体験教室(真岡市教育委員会ホームページ)

https://www.moka-tcg.ed.jp/kyouiku_01/bbses/bbs_articles/view/76/fcf06d1886ea015ad29cd7a5207fa73c?frame_id=172



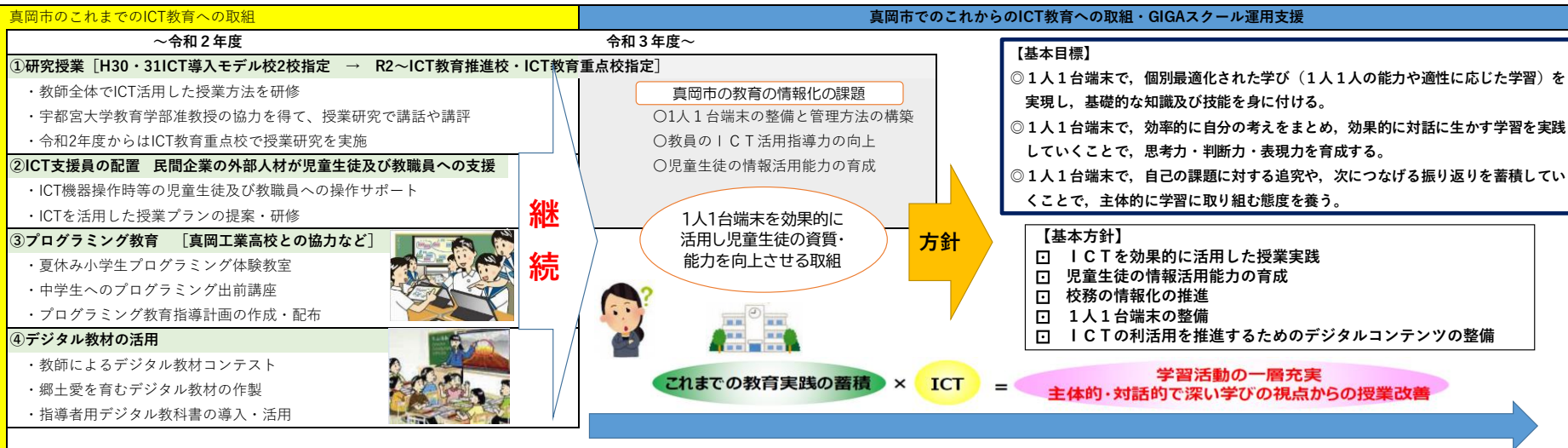
真岡市におけるGIGAスクール構想の推進イメージ

GIGAスクール構想の実現へ ～多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ～



ICTを効果的に活用した授業の取組と「1人1台端末・高速通信環境」がもたらす学びの変容イメージ

学習形態	ポイント	実践事例	1人1台端末・高速通信環境がもたらす学びの変容
一斉学習	教員による教材の提示	・画像の拡大提示や音声、動画などの活用（電子黒板） ・一人一人の考えや学習状況を把握（授業支援ソフト、学習履歴データの確認）	・子供たち一人一人の反応を踏まえたきめ細かな指導等、双方向型の授業展開が可能になる。
個別学習	個に応じる学習 調査活動 思考を深める学習 表現・制作	・一人一人の習熟の程度等に応じた学習（学習者用端末、ドリルソフトなど） ・インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録（学習者用端末、授業支援ソフト） ・シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習（学習者用端末、デジタル教材・教科書） ・学習者用端末やデジタルデータをを用いた資料・作品の制作	・一人一人の教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や個に応じた指導が可能になる。
協働学習	発表や話し合い 協働での意見整理・協働制作 学校の壁を越えた学習	・グループや学級全体での話し合い（学習者用端末、協働学習ソフト、電子黒板等） ・複数の意見・考えを議論して整理やグループでの分担、協働による作品の制作（学習者用端末、授業支援ソフト、同 時編集機能の活用など）	・全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる。



8. 特別支援教育

特別支援教育は、障がいのある児童生徒のみを対象とした特別な教育ではなく、全ての児童生徒に対する一人一人の能力や特性に応じた指導を一層充実させ、児童生徒が本来持っている力を最大限に発揮できるようにするものです。

各学校では、全ての児童生徒自らが自信を育むとともに周囲の人々と相互に支え合う関係を築くことができるよう、教職員は児童生徒の理解を深め、児童生徒の安心感を高める指導・支援の充実に努めます。その中で、障がいのある児童生徒については、生涯にわたって日々の自立と社会参加を積み重ね、主体的に自分のできることを広げていくことができるよう、個別の教育支援計画を活用し、一人一人の障がいの状態等に応じた指導・支援を図ります。

さらに、「真岡市における GIGA スクール構想」の実現に向けた取組により、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない個別最適な学びを実現いたします。

9. 人権教育

義務教育段階の学校教育における人権教育は、「豊かな人間性や自尊感情を育成するとともに、人権の意義及びその尊重と共存の重要性に気付き、差別のない望ましい人間関係を確立することに努める態度を育てること」をねらいとしています。

そこで、各学校においては、児童生徒の発達の段階に即しながら、人権教育を教育計画に適切に位置付け、全ての教育活動を通して、人権意識の向上を図っています。

また、市内小中学校教員による真岡市人権教育研究会において、各学校の人権教育の取組をまとめた研究集録「人権教育」を作成するとともに、取組の発表や情報交換を行い、更なる人権教育の推進を図っています。

10. 健やかな体づくり

❖ 学校体育

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを重視する観点から、運動や健康に関する課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習活動を通して、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」を育成することをねらいとしています。

そこで、真岡市体力向上推進委員会を設置し、児童生徒の体力向上に向けた取組を行います。また、各学校では、系統性を踏まえた指導内容の一層の充実を図ります。

(1) 真岡市チャレンジカードの作成

心身ともに健康でたくましい「もおかつ子」の育成を目指し、今年度は家庭との連携を図るための取組として、運動する習慣を身に付け、運動好きな「もおかつ子」を育てることができるようにと「真岡市チャレンジカード」を作成します。

(2)学級対抗長縄8の字跳びにチャレンジ ～「8の字もおかぴょん」～の実施

市内小学校において、クラスごとに長縄8の字跳びにチャレンジし、市教委が全学級に認定証を配布し、各学年(クラス)の「ベスト10」を公表しています。体力の向上及び健康の保持、増進を図るとともに、目標に向かって学級の全児童が挑戦することで、学級の絆を育みます。



「8の字もおかぴょん実施時」の様子

❖ 食育の推進

第3期真岡市食育推進計画に基づき、児童・生徒に伝統的な食文化に関心を持たせるように「郷土料理」や十五夜やクリスマスなどの行事に合わせた「行事食」、地場産物を多く使用した「地産地消給食」など、工夫を凝らした学校給食を提供しています。

また、学校での食育を充実させることを目的とし、栄養教諭による「食に関する指導」を毎年200回程度実施しています。

【令和5年度】 食に関する指導 23校(小学校14校、中学校9校) 237回



地産地消給食の例

県産豚肉ハンバーグ もやしのナムル
かんぴょうのかき玉汁 県民の日デザート



行事食の例

赤飯 鶏肉のスタミナ焼き しもつかれ
小松菜のみそ汁



令和5年度「食に関する指導」の様子

11. 学校を核とした地域づくりの推進

❖ 学校評議員

学校評議員制度は、学校・家庭・地域が手を携えて、よりよい教育の実現を目指すとともに、学校の自主性・自律性を高め、校長が地域の声をさらに一層把握しながら適正に学校運営を行うことを支援するための制度です。

具体的には、地域に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進していくため、学校運営に関し、保護者や地域住民の意向を把握し反映すること等を目的に、平成12年4月1日の学校教育法施行規則の改正とともに、実施されています。

役割としては、評議員は、校長が行う学校運営を支援するものとして位置付けられ、校長の求めに応じ、それぞれの責任において意見を述べるものとされておりますが、答申や建議を行ったりするものではなく、「学校外の意見を聴取する機関」という性格を有しています。

評議員は、各学校5～10人程度で、できるだけ幅広い分野から選考し、教育や青少年の育成に関して理解及び識見を有していること等が要件とされています。

❖ コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入により、学校と保護者、地域住民等が目標やビジョンを共有し、連携・協働することで、学校運営の改善・充実が期待できます。

本市では、令和2年度に栃木県主催の「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」事業で真岡東中学校がモデル校に選定され、年間を通して「地域と共にある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」に向けた事業を展開しました。その取り組みを元に、令和4年度から真岡東中学校に学校運営協議会が設置され、本市初のコミュニティ・スクールが導入されました。

令和6年度には、さらに大内東小学校、山前小学校、中村小学校、長田小学校、久下田小学校、中村中学校、久下田中学校の7校において、5つの学校運営協議会が設置され、令和8年度までに市内の全小中学校へのコミュニティ・スクール導入を予定しています。

本市では、学校と地域の両方を元気にするため、地域と学校・市教育委員会が一体となって子どもたちの成長に関わっていける体制づくりを推進していきます。



令和5年度「中村中学校父親の会」の様子

❖ スクールガード

子どもたちの登下校時の安全を守るため、通学路での交通安全に関する見守り活動やパトロール、危険箇所の監視、あいさつなどの声かけ運動など、地域との連携によりスクールガード(ボランティア)の巡回等を通して、地域社会全体で見守り活動に取り組んでいます。令和5年度は、492名の方が活動しています。

また、各中学校区にスクールガードリーダーを配置し、巡回活動のほか、学校と連携して通学路の危険箇所を確認したり、スクールガードや学校教職員等に対する巡回方法などの指導・助言を行っています。

教育環境の整備

1. 教職員の働き方改革の推進

学校における働き方改革は、教職員のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的としています。

そこで、真岡市教育委員会では、全ての教職員が、健康でいきいきとやりがいをもって勤務しながら、教育の質を高めていける勤務環境の実現を目指してプランを策定し、学校における働き方改革を推進していきます。

(1)学校における働き方改革推進プラン(第2期)(令和4年8月25日策定)

学校における働き方改革を継続的に取り組むため、「学校における働き方改革推進プラン(第2期)」を策定しました。このプランでは、多忙化の大きな要因となっている5つの項目に焦点を当て、重点的に取り組んでいます。実施期間は令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間となっています。

(2)真岡市小中学校における働き方改革推進委員会

市校長会代表4名を委員として、本市の小中学校における働き方改革の取り組み状況やその上での課題解決のための方策を検討しています。

2. 教員の指導力向上

教育を取り巻く環境が大きく変化する中で、学校教育に対する期待に応えるためには、教育活動の直接の担い手である教員に対する揺るぎない信頼を確立し、教員の資質能力がより一層高いものとなるようにすることが重要です。そのためには、キャリアステージに応じて、教員が計画的・継続的にその指導力を維持・向上していくことが必要です。

本市においては、様々な研修や参考資料の配付など、教員の資質能力の向上を図るための体系を整えています。

(1)学校訪問

学校経営、教育課程の運用、学習指導、児童・生徒指導、学校保健・安全等、学校教育全般にわたり、学校の実態に即して直接、指導助言や研究協議を行い、各学校が主体的に、より充実した教育活動や特色ある学校経営ができるよう支援します。

① 合同訪問

上記の学校訪問の目的を達成するために、3年に一度、栃木県教育委員会芳賀教育事務所と合同で学校を訪問します。

② 要請訪問

学校が努力し追究しようとする課題の解明に対して、学校の主体的な取組を支援するために、要請に応じて指導・助言をします。

Ⅲ 事業の概要

③教職２～４年目教員支援事業

教職２～４年目の教員を支援するために、担当指導主事が学校を訪問し、教科指導、児童・生徒指導、学級経営などの教員のイロハを一人一人に直接、指導・助言をします。

④真岡市総合学力調査結果を受けた支援訪問

第２回調査結果を踏まえ、次年度までに解決する課題を明確にし、改善するための指導・助言をします。

(2)教員研修

学校教育の基盤となる教員の資質・能力の向上を図るために、次のような研修を実施しています。

(1)学校教育課

①対象：一市四町教員

- ・学校経営研修会
- ・主幹教諭・教務主任研修会
- ・道徳教育研修会
- ・教育課題研修会

②対象：真岡市教員

- ・真岡市教頭研修会
- ・真岡市学力向上推進研修会
- ・教職２～４年目教員支援事業
- ・ICT教育に関する研修会

(2)真岡市科学教育センター

①対象：真岡市教員

- ・理科担当者研修
- ・理科研修会

この他、四町（益子町・茂木町・市貝町・芳賀町）や国、県主催の研修会も開催されています。

(3)教育資料の配付

①真岡っ子を育てる授業スタイル（R3.3）

②学校教育資料

- ・道徳科の授業づくりガイド（H30.3）
- ・ICTを活用した学校教育の推進（H31.3）
- ・新学習指導要領を踏まえた授業づくり（R3.3）
- ・外国語科の授業づくり（R4.3）
- ・困り感をもった子供への対応（R5.3）

③真岡市英語教育通信”We can”

④魅力ある学校づくり（R2.3）

3. 学校施設整備の充実

安全・安心で快適な学習環境を備えた学校施設を確保するため、日常点検や定期点検を行い、各種修繕等を実施することにより施設や設備の維持管理を実施しています。

また、施設の整備に係るコストを総合的に抑制し、予算の平準化を図ることを目的に策定した学校施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設や設備の計画的な整備を推進していく必要があります。

令和4年度から体育館の照明について、消費電力及び維持管理費の削減を図るため、財政負担の平準化が可能な賃貸借事業により計画的にLED照明に更新しています。また、令和5年度は、長沼小学校校舎長寿命化改修工事等を実施しました。

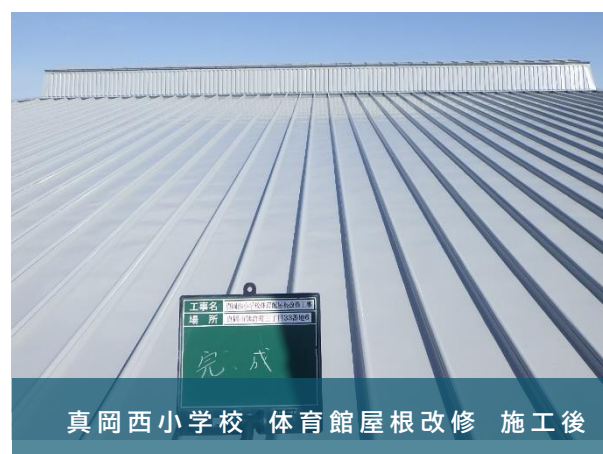
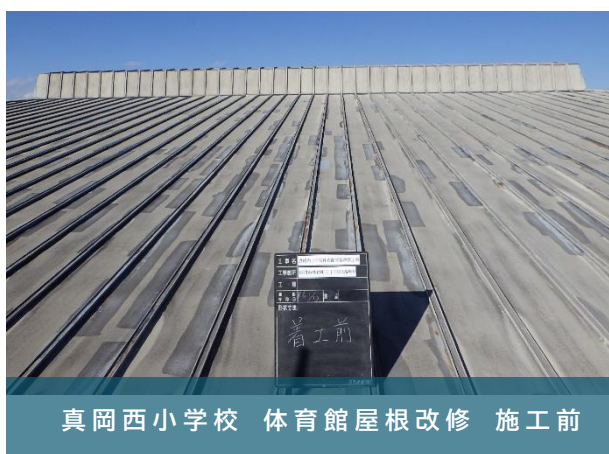
○長沼小学校校舎屋上及び外壁改修工事

所在地	真岡市長沼716番地
工事期間	令和5年8月1日～令和6年2月2日



○真岡西小学校体育館屋根改修工事

所在地	真岡市熊倉三丁目33番地6
工事期間	令和5年11月29日～令和6年3月15日



4. 教育費等の支援

❖ 就学援助

真岡市では、市内にお住まいで真岡市立小・中学校にお子さまを通わせている保護者に対して、学校でかかる経費の一部を援助する就学援助制度を行っています。援助を希望される方は、学校へお申し出いただき、申請書を提出してください。なお、申請は毎年度必要となり、認定されるまでは集金が生じます。

○令和6年度就学援助支給額

認定されますと、次の費目が援助されます。（年額※援助費は変更になることがあります。）

区分		援助額（単位：円）		支給該当者		
		小学校	中学校	要保護	準要保護	備考
学用品費	1年	13,230	25,040		○	通学用品費なし
通学用品費 校外活動費	その他の 学年	15,500	27,310		○	
修学旅行		実費	実費	○	○	小学校6年生 中学校3年生
給食費		49,500 （小1の4月分は調整有）	57,200 （中3の3月分は調整有）		○	
医療費（う歯のみ）		実費	実費	○	○	要医療券
新入学学用品費		57,060	63,000		○	小学校1年生 中学校1年生

❖ 奨学金制度

真岡市に住所を有する優秀な学生または生徒で、経済的理由により入学または修学できない場合に学資を貸与し、広く有能な人材を育成することを目的としています。

(1)修学資金

○応募資格

真岡市に1年以上住所を有し、修学の意欲がある品行方正な方で、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校（2年以上の専門課程）、福祉・医療・看護教育を行う各種学校（高校卒業者）に在学または入学しようとする方

○貸与額

(1) 高等学校	月額 20,000円
(2) 高等専門学校	月額 20,000円
(3) 短期大学	月額 40,000円
(4) 大学	月額 40,000円
(5) 専修学校	月額 40,000円
(6) 福祉、医療、看護教育を行う各種学校	月額 40,000円

(2)入学資金

○応募資格

真岡市に1年以上住所を有し、短期大学、大学、専修学校（2年以上の専門課程）、福祉・医療・看護教育を行う各種学校（高校卒業者）に入学しようとする方の保護者

○貸与額

300,000円

❖ 真岡市就労者定住促進奨学金返還支援事業補助金（令和6年度現在）

奨学金の貸与を受け、大学、短期大学、高等専門学校および大学院卒業後、真岡市に一定期間居住し、勤務するなど要件を満たした場合に、前年度に返還した奨学金について、補助金額に該当する額を交付する制度です。

○対象となる奨学金

- ・日本学生支援機構の第一種奨学金（無利子）
- ・地方自治体が貸与する無利子の奨学金
- ・公益財団法人栃木県育英会が貸与する無利子の奨学金
- ・その他市長が認める公的機関の無利子の奨学金

○補助対象

- ・大学、短期大学、高等専門学校および大学院に進学し、在学している期間に奨学金の貸与を2年以上受けた方
- ・1年以上事業所に勤務している方
- ・市内に1年以上居住し、3年以上住所登録のある方
- ・前年度に返還すべき奨学金を返還し、市税等に滞納のない方
- ・他の奨学金返還制度を利用していない方

○補助限度額

- ・大学生（4年貸与） 200万円
- ・大学生（3年貸与） 150万円
- ・大学生（2年貸与） 100万円
- ・短期大学生・高等専門学校生 貸与額の1/2または70万円
- ・大学院生 貸与額の1/2または100万円

5. 学校保健

❖ 健康診断の実施

児童生徒、教職員の健康の保持増進を図るために、健康診断等を行います。

○健康診断事業

- ・定期健康診断（全学年）
- ・心臓検診（小学校1,4年生、中学校1年生）
- ・腎臓検診（全学年）
- ・血液検査（中学校1,3年生）
- ・小児生活習慣病予防健診（中学校2年生）

Ⅲ 事業の概要

- ・結核検診（全学年）
- ・就学時健康診断（次年度就学児童）
- ・教職員対象結核検診、生活習慣病検診

○その他

- ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師に対する委嘱、報酬など支払事務

❖ 普通救命講習会の実施

学校において、児童生徒の事故および怪我が発生した際の緊急時に迅速に対応できるようにすることを目的として実施しています。原則、過去3年間で心肺蘇生法関係の実習に参加していない教職員を参加対象としています。

普通救命講習会は、芳賀地区広域行政事務組合消防本部へ講師依頼し、AEDの使用法、心肺蘇生法、止血法、気道異物の除去方法等についてご指導いただき、実技演習を行います。

❖ 食物アレルギーの対応

(1) 詳細な献立表や学校での確認表の配布

毎年、食物アレルギーに関する対応等の実態調査を実施し、児童・生徒の食物アレルギーの状況を確認しています。また、給食を食べる際にアレルギーの原因となる食品を誤って食べないようにするため、希望者には給食の材料、食物アレルギー表示義務のある食品（8品目）及び推奨表示食品（20品目）を記した詳細な献立表と学校での確認表を配布しています。

(2) 教職員研修の実施（エピペン）

食物アレルギーを持つ児童生徒について、教職員が講習を受講することにより、アレルギー事故の未然防止及び緊急時の校内体制整備を促進するとともに、教職員の資質向上を図り、アレルギー疾患のある児童生徒が安全・安心な学校生活を送れるようにすることを目的としています。

研修会には、小児科のアレルギー専門医を講師として招き、食物アレルギーやアナフィラキシーショックについての講話や、エピペンを使った実技演習（ロールプレイ）についてご指導いただきます。

6. 学校給食センター

❖ 第一学校給食センター

所在地	真岡市東郷496番地1	
延床面積	1642.59㎡（本館のみ）	
設備	調理場／事務室／会議室／機械室／倉庫棟／廃油庫等	

1日に小学校11校、中学校6校、保育所1か所、約6,000人分の給食を調理しています。

2献立（小学校・中学校別）

❖ 第二学校給食センター

所在地	真岡市大根田1549番地	
延床面積	1324.75㎡（調理場のみ）	
設備	調理室／洗浄室／検収室／下処理室／会議室／事務室等	

1日に小学校3校、中学校3校、保育所1か所、約1,300人分の給食を調理しています。
1献立（小学校・中学校共通）

❖ 給食センター整備

真岡市学校給食センター整備基本計画を策定し、第一学校給食センターの建替え及び第二学校給食センターの増強工事等を推進しています。

新第一学校給食センターは、令和3年度、4年度で設計し、令和5年度、6年度で建設工事を行い、令和7年度からの供用開始を目指しています。また、新しいセンターには、安心・安全な給食を提供するために、学校給食衛生管理基準等に適合した最新の厨房設備を導入し、食物アレルギー対応食を提供するための専用調理室を設置します。第二学校給食センターにおいても、食物アレルギー対応食を提供するための専用調理室を設置します。

7. 自然教育センター

昭和60年4月に「遊び、学び、鍛えよう」を指標として開所し、児童生徒の心身研鑽の場および高齢者の研修の場とした複合施設です。

自然教育センターホームページ

<https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/shizenkyoiku/index.html>



所在地	真岡市柳林1140番地2	
延床面積	4179.19㎡	
設備	宿泊室／研修室／天体観測室／集会運動室／教養娯楽室／食堂／多目的ホール／浴室／作業室／栄養指導室／図書室／ボランティア室／乾燥室／洗濯室等	

❖ 学校教育関係事業

(1) 宿泊学習

市内の小学3、4、6年生及び中学1、2年生が、教職員と寝食を共にし、学校や家庭では体験できない様々な活動を通して、人とのふれあい、自然とのふれあいを深め、心豊かでたくましく生きようとする児童生徒を育てることをねらいとして実施しています。

Ⅲ 事業の概要

入所中の主な活動	活動詳細
創作活動	竹細工、ストーンアート、七宝焼、陶芸、カラーキャンドル、焼き板、野鳥ブローチ、勾玉、リース、埴輪、その他
スポーツ・レクリエーション	グラウンドゴルフ、スマイルボウリング、ラダーゲッター、ディスクゴルフ、その他
自然体験活動	スコアオリエンテーリング、アスレチック、キャンプファイヤー、いかだ作り、マスつかみ、マス釣り、本流遊び、ウォークラリー、ネイチャーゲーム、その他
炊さん活動	野外炊さん、いももち、カルメ焼き、うどん、饅頭、バウムクーヘン、ピザ、その他
伝承的遊び	百人一首、かるた、お手玉、ベーごま、めんこ、けん玉、その他
自然観察	天体観測
勤労生産活動	奉仕活動



「焼き板作り」の様子



「野外炊さん」の様子



「バウムクーヘン作り」の様子

(2)体験教室

体験教室は、学校・家庭とは異なる環境の中で、達成感や満足感を得る自然体験活動を行うことで、児童生徒の自尊感情や自己肯定感を高め、集団適応力、社会性、協調性等を育み、社会的自立に向けてのきっかけを作ることを目的としています。

学校へ行きたいと思っても、不安や悩み、周囲の環境などそれぞれ様々な理由から心身の調子が悪くなってしまい、学校に足が向くことが難しい真岡市内の児童生徒が対象となります。

令和5年度は、創作活動として土鈴作り、炊さん活動としてピザ作りや生ラーメン作りを実施しました。

(3)各小中学校への職員の派遣(授業補助)

児童生徒の体験の充実を図るため、自然教育センターで実施予定の活動を希望する学校で実施することを目的としています。

❖ 社会教育関係事業

(1)高齢者研修

生涯学習、高齢者の自立と生きがいづくりの一環として、各種研修をとおして、高齢者の教養の向上、健康増進を図ることを目的としています。

8. 科学教育センター

「育てよう科学する心」を基本理念として、21世紀を担う市内小・中学校の児童・生徒に科学を通して、豊かな知性と創造性を育むことを目的として建設したものです。

科学教育センターホームページ

<https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/1/index.html>



所在地	真岡市田町1349番地1	
延床面積	3544.46㎡	
設備	科学実験室(3)/プラネタリウム室/多目的ホール	

❖ 学校教育関係事業

(1)教職員研修

○理科担当者研修

市内小中学校児童生徒の理科における確かな学力の育成を図るため、指導主事が学校を訪問し、理科担当教員を対象に授業力向上及び将来の理科専科教員育成を目的として実施しています。

○理科研修会

市内小中学校教員を対象に、理科実験観察の指導技能向上及び安全指導を目的として実施しています。

(2)市内小中学校のプラネタリウム利用

市内の学校を対象にプラネタリウムの利用を受け入れています。センター職員による星空解説や宇宙に関する番組鑑賞を通して宇宙への関心を高めています。また、希望する学校には、太陽や月の動き、星の特徴等をドーム型スクリーンで観察する体感型の学習を行っています。小学校の社会科見学の際に施設見学と併せて利用している学校もあります。

❖ 社会教育関係事業

(1) 児童・生徒の健全育成及び市民に対する科学技術の普及・啓発

プラネタリウム公開

市民が身近な夜空や宇宙への関心を高められるよう、センター職員による星空解説、宇宙に関する番組を公開しています。

① 一般公開

土曜日 投影回数2回／日

夏休み等 投影回数2～3回／日

② 団体利用（幼稚園、保育所及び小学校等）

科学の広場

小中学生を対象に、科学に関するものづくりや実験観察等を通して科学に親しめる内容の講座を各種実施しています。

社会教育

生涯学習の振興

1. 市公民館・分館

本市の公民館は、下記のように本館と分館5館の計6館で、地域住民と一体となってきめ細かな活動を行っています。

なお、本館に隣接して総合体育館、武道体育館、市民公園、スポーツ交流館、青年女性会館、久保講堂、科学教育センター、総合福祉保健センターがあり、各施設と連携して社会教育の振興に力を入れています。

※各館の利用者数は資料編に掲載しています。

○Auto Mirai 真岡公民館(真岡市公民館)

所在地	真岡市荒町1201番地	
延床面積	1254.8㎡	
設備	第1会議室/第2会議室/第3・4会議室/第5・6会議室/第7会議室/調理室	

○真岡西分館

所在地	真岡市西高間木539番地1	
延床面積	1128.64㎡	
設備	第1会議室/第2会議室/第3会議室/第4会議室/第5会議室/調理室/図書室	

○山前分館

所在地	真岡市小林935番地1	
延床面積	1478.77㎡	
設備	第1・2会議室/第3会議室/第4会議室/第5会議室/調理室/多目的ホール	

Ⅲ 事業の概要

○大内分館

所在地	真岡市飯貝529番地	
延床面積	1580.9㎡	
設備	第1会議室/第2会議室/第3会議室/第4会議室/調理室/多目的ホール	

○中村分館

所在地	真岡市中247番地	
延床面積	1324.23㎡	
設備	第1会議室/第2会議室/第3会議室/第4会議室/調理室/多目的ホール	

○二宮分館（二宮コミュニティセンター）

所在地	真岡市石島893番地15	
延床面積	6853.32㎡	
設備	二宮支所、公民館二宮分館、二宮図書館、地域包括支援センターにのみや、二宮土地改良区協議会、市民活動推進センター（コラボレーもおか）、もおかライブラリー教室二宮教室、201 会議室／202 会議室／203 会議室／204 会議室／205 和室／206 会議室／207 会議室／301 会議室／302 会議室／多目的ホール／304 ギャラリー／305 ギャラリー／研修室／調理室	

2. 地域公民館

自治会または町内会で自主的に建設されたもので、166館に及んでいます。（令和5年3月31日現在）

地域公民館は、それぞれの区域内の住民の総意によって、地域の課題解決を目指す活動や地域の特性を生かした地域づくり事業を行っています。

地域公民館は、地区ごとに地域公民館連絡協議会を、また市全体で真岡市地域公民館連絡協議会を組織し、地区及び市として各種の事業を行っています。

Ⅲ 事業の概要

○主な事業

- ・総会、役員会（市、地区）
- ・花いっぱい運動（市）
- ・中央研修会（市） ・役員研修（市・地区）
- ・館長研修（市） ・地区研修（地区）等
- ・女性バレーボール大会（市）
- ・地域座談会（地区）
- ・地域芸能発表会（市）
- ・公民館まっりの開催（地区）

地区名	館数
真岡	25
山前	41
大内	21
中村	20
二宮	59
計	166

❖ 花いっぱい運動

花を愛する心を養い、花と緑の豊かなまちづくりをし、情操豊かな人間性を育てるとともに花の植付け、管理等で共に汗を流すことによって地域住民の連帯、協調の心を育て、ひいては地域づくりにつながる事業です。現在、約55館の公民館が参加しており、開花後、審査（地区審査、予備審査、本審査）を行い、最終的には花いっぱい運動コンクールという形で表彰式を実施しています。



❖ 建設資金貸付事業

地域公民館建設及び敷地等取得の際の資金貸付制度で、総費用の60%以内で限度額1,000万円。ただし、貸付金額が200万円以内の場合は、総費用の60%を超えて貸し付けることができます。

貸付期間は10年以内で無利子。

❖ 建設助成

地域公民館が新築又は増改築を行う場合の建設費の助成を行っています。

補助対象工事	補助額
地域公民館の新築	建築総工費の35%以内（ただし最高400万円まで）
地域公民館の増改築 （総工費10万円以上）	増改築総工費の35%以内（ただし最高400万円まで）

3. 青年女性会館

真岡市内の青年団体、女性団体をはじめ、勤労者団体及び社会教育団体やそれに準ずるグループ、サークル等の利用に供し、その活動を盛んにして、本市の社会教育活動の推進に寄与するために設置されました。

所在地	真岡市田町1344番地	
延床面積	1410.19㎡	
設備	青年室/女性室/研修室/もおかライブラリー教室 真岡教室/ホール/会議室	

4. にのみや“とちおとめ”ホール(生涯学習館)

昭和60年に設置され、真岡市の生涯学習の振興を図るとともに、市民及び地域社会の文化の向上に寄与するための施設です。発表会・講演会・学習会・式典・集会などの会場として生涯学習活動に利用されています。

所在地	真岡市さくら一丁目15番地 1	
延床面積	2013.3㎡	
設備	ホール／多目的ホール／楽屋(2室)／会議室	

5. 図書館事業

❖ 真岡市図書館運営方針

図書館は、生涯学習、情報化社会、地域社会の育成というキーワードがクロスする、最も重要な公共施設のひとつとして位置づけられています。

図書館は、あらゆる年齢層の市民が生涯にわたって自ら学ぶ「生涯学習の基地」であり、知的探求心に応える「地域の情報拠点」であるとともに、目的に応じて利用できる「だれもが気軽に集える空間」としてサービスを提供します。

また、「まちづくりの拠点」として図書館サービスを通じて、地域社会の活性化に貢献すると共に、「だれもが“わくわく”するまちづくり」の実現に向けて運営を実践します。

そのために私たちは、人と情報、人と知識、人と人の出会いが交差する文化の核として「静」と「動」が調和した開かれた図書館を目指していきます。

❖ 真岡市図書館基本方針

『みんなが集う、知域創造型図書館（知＝知識、域＝地域）』

・「すべての人が利用できる図書館づくり」

図書館は「だれもが気軽に集える空間」として、あらゆる人が目的に応じて図書館を利用できるように、資料、情報、サービス等を様々な形で提供します。

・「多様なサービスを展開する図書館づくり」

図書館は「生涯学習の基地」として、あらゆる年齢層の市民が生涯にわたって自ら学ぶための、多様なサービスを展開します。

・「地域の情報拠点として地域の課題に応える図書館づくり」

図書館は「地域の情報拠点」として、利用者の知的探求心に応え、地域や自己の課題を解決するために必要な資料や情報を収集・提供します。また、郷土資料（地域の行政資料や歴史的資料）を収集・保存し、郷土愛を育むとともに文化を継承します。

・「地域の交流の場としての図書館づくり」

市民や団体に交流の場を提供し、関連する資料・サービスを充実させることで、地域社会の活性化に貢献するとともに、まちづくり拠点として地域と人の交流を推進します。

・「知識基盤社会に対応した図書館づくり」

新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として重要性を増す「知識基盤社会」に対応するため、利用者に常に新たな知識や情報を提供します。

❖ 令和6年度 真岡市図書館重点施策（真岡市立図書館・二宮図書館）

（1）市民の知的探求心に応え、だれもが気軽に集い利用できる図書館づくり

- ①バリアフリーサービスの推進
- ②電子資料・図書館アプリ活用の推進
- ③複合交流拠点の特色を活かしたイベントの実施
- ④知的探求心に応える魅力的なコーナーの作成

（2）複合交流拠点への移転にともなう図書館の蔵書・環境の整備

- ①子どもの読書活動の推進
- ②幅広い図書館資料の収集
- ③所蔵資料の整理・活用

❖ 真岡市電子図書館

本市では令和3年1月29日より電子図書館サービスを開始しており、所蔵されている電子コンテンツをお手持ちの端末機器（PC・スマートフォン等）で借りて読むことができます。

真岡市立図書館ホームページもしくは下記 URL からアクセスできます。

<https://web.d-library.jp/moka/g0101/top/>



Ⅲ 事業の概要

○真岡市立図書館（真岡市複合交流拠点施設「monaca」内）※令和7年1月25日開館予定

所在地	荒町5131番地	
延床面積	7144.87㎡ ※施設全体の面積	
設備 (図書に関するものを記載)	1階:ライブラリーラウンジ(新聞・雑誌)/視聴覚ライブラリー/視聴覚コーナー/予約資料コーナー/学習室/自動貸出機 等 2階:ももっ子ライブラリー(児童書)/おはなしコーナー/自動貸出機/検索機 等 3階:メインライブラリー1、2、3(一般書)/郷土資料コーナー/読書室/自動貸出機/検索機 等	

○真岡市立二宮図書館

所在地	真岡市石島893番地15 (二宮コミュニティセンター1階)	
延床面積	981.96㎡	
設備	一般書開架室/児童書開架室/こどもおはなし室/雑誌・AV視聴・郷土資料・二宮尊徳・親鸞コーナー/読書・学習コーナー/保存書庫/倉庫等	

6. 青少年教育

❖ 青少年の健全育成推進事業

家庭・学校・職場及び地域が一体となり、青少年が将来に夢と希望を持ち、豊かな感性と創造性を養いながら、たくましく成長できるような環境の整備に努めています。

- ・「青少年が心豊かにたくましく育つ都市」宣言
- ・青少年健全育成連絡会の活動の充実
- ・「家庭の日」運動の推進
- ・「こども110番の家」看板の管理運営
- ・真岡っ子をみんなで育てよう事業の実施
- ・放課後こども教室の実施



Ⅲ 事業の概要

❖ 青年式～20歳の集い～

民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられた後も、これまでどおり年度内に20歳を迎える方々を対象に、社会人としての門出を祝い合う式典を行います。

市では実行委員会形式を取り入れ、参加者自ら式典の企画や運営を行い、思い出に残る式典づくりに努めています。



令和5年「青年式」の様子

❖ 子ども会リーダー研修会

子ども会のリーダーを育成する目的で、各地区子ども会育成会連絡協議会主催でキャンプ研修等を行っています。火起こし・野外炊飯など、日頃体験できない活動をとおして、自主性・協調性を身に付けることを目的として実施しています。



令和5年度
「子ども会リーダー研修」の様子

❖ 高校生等海外留学支援事業補助金制度

意欲ある若者の海外留学を高等学校の段階で支援し、将来、多様な分野でリーダーシップを発揮できるグローバルな人材の育成を図るため、海外留学プログラムに参加する高校生の要する費用の一部を助成します。

○対象

真岡市内に住所を有し、学校長の承認を得た9日以上海外留学プログラムに参加する高校生等

○対象となる留学

- ・期間 ①短期コース：9日以上1ヶ月未満 ②長期コース：1ヶ月以上
- ・内容 海外の姉妹校等との交流、語学研修又は農業・工業・商業・スポーツ・芸術・科学等の分野で、国際的な視野を広めるなど研鑽を積むことを目的としているもの

○交付金額

- ①短期コース：3万円 ②長期コース：6万円

❖ 少年指導センター

昭和48年に設置され、日常の街頭指導活動を通して、青少年の初発型非行の防止に努めるとともに、悩みごと相談等の少年に対する直接的活動や、青少年を取り巻く環境浄化活動等の間接的活動を通し、青少年健全育成に取り組んでいます。

- ・指導員を12班に分けて街頭指導を実施。青少年非行の未然防止、早期指導の実施
- ・有害環境の浄化活動の促進・・・有害ポスター、看板の監視・撤去、書店調査、その他
- ・年4回指導員会議を開催し、指導センターの運営と情報交換
- ・他センターとの連絡、協調
- ・少年指導センター運営協議会の設置

Ⅲ 事業の概要

- ・電話相談事業（親と子の悩み相談電話^{ふさがないで}82-3571）昭和58年9月開設
- ・その他少年非行防止に必要な業務

❖ にのみや野外活動センター

鬼怒川河川敷に隣接する豊かな自然のなかで野外活動を通し青少年の健全育成に寄与するため設置されました。

所在地	真岡市砂ヶ原283番地	
延床面積	382.75㎡	
設備	事務室/会議室/実習室/シャワー室/炊事棟/倉庫 /野外炉/テントサイト	

7. 成人教育

❖ 女性学級

女性の豊かな人間性を培い、趣味や教養を身につけるために年10回程度の活動を行う学級を6学級（真岡、真岡西、山前、大内、中村、二宮）開設しています。

❖ 家庭教育学級

豊かな人間性を持った健やかな青少年を育てるために、人生のうちで最も大切な人間形成期における家庭教育の正しい理解を図り、家庭のあり方を学習する場として開設しています。

《 令和5年度の実績 》

学習主題	「親子でリフレッシュ&笑顔になろう」
小学校対象 （14学級）	真岡、真岡東、真岡西、亀山、大内中央、大内東、大内西、山前、西田井、中村、長田、長沼、久下田、物部
幼稚園対象 （12学級）	高ノ台、真岡杉の子、真岡ひかり、真岡さくら、萌丘、高ノ台第二、真岡ふたば、にしだ、牧が丘、せんだん、にのみや、萌丘東
保育園対象 （6学級）	西真岡、真岡めばえ、萌丘東（保）、西真岡第二、にのみや（保）、あおぞら
保育所対象 （4学級）	真岡、中村、西田井、物部

○ 思春期学級

思春期の子どもたちの身体的、精神的、社会的特徴を理解し、適切に対応できるよう学習します。

- ・対象 中学生とその保護者
- ・回数 年9回開講（各中学校1回）

※令和5年度は7回開講

（真岡、物部を除く各校 各1回ずつ）

Ⅲ 事業の概要

❖ 家庭教育通信

小学校保護者を対象にした通信は昭和49年度から、また、幼稚園・保育所等の保護者を対象とした通信は昭和53年度から、そして平成5年度より中学校保護者対象の通信を発行し、その時期における親の心構えやしつけ等を内容として「届ける家庭教育」として実施しています。また、個人、グループ、家庭教育学級等での学習教材として利用されています。

すこやか(幼稚園・保育園・保育所保護者向け)	年間5回
のびる(小学校保護者向け)	年間5回
めざめ(中学校保護者向け)	年間5回

❖ 市民講座

市民に学習機会と学習の場を提供し、市民の自発的並びに自主的な学習意欲を高めることを目的に「市民講座」を開講しています。

市民講座の内容は真岡市ホームページでも掲載しています。



https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/shogaigakushu/gyomu/shogai_gakushu/3/19378.html



❖ もおか出前講座

いつでも、どこでも、だれでも、気軽に学ぶことのできる学習プログラムとして「もおか出前講座」を開講しています。市民が受講したい講座をメニューより選び申し込むと、講師が出向いて講座を開講します。市職員が講師となる行政編と市民ボランティアが講師となる趣味・教養編があります。

出前講座の内容は真岡市ホームページでも掲載しています。

https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/shogaigakushu/gyomu/shogai_gakushu/5/8651.html



❖ 子育て学級「コアラちゃんクラブ」

健やかな子どもの成長と親の役割について学習・交流の機会を提供しています。

子育てについて学習しながら、家族のふれあいを深め、親同士・子ども同士の交流の輪を広げ、「心の教育」について考える場とします。

令和5年度は、年齢別に2コースに分かれ、年間10回の活動を行いました。

8. 団体育成

❖ 子ども会及び子ども会育成会

(1)子ども会

子ども会は、自主的な団体活動を組織的、継続的に進めることによって、一人一人が自主性、社会性、創造性を身につけ、心身共にたくましく、人間性豊かに成長することを目的としています。

(2)子ども会育成会

今の子どもは、遊びを中心に異年齢集団の中での生活体験に乏しいので、社会性、協調性が不足しがちで、子どもたちだけでの健全な活動ができにくい状況にあります。そのために 109 単位の地区子ども会育成会が、子ども会の活動を支援しています。

5地区それぞれに地区子ども会育成連絡協議会、市に真岡市子ども会育成会連絡協議会が組織され、子ども主体の活動となるよう連絡協調を行っています。また、夏休み中心でなく、日常活動として主体的に進められるよう関係機関、団体と連携しながら活動しています。

❖ ジュニアリーダースクラブ

子ども会活動等の高校生リーダーとして、レクリエーションや社会奉仕活動を行い、自己を高めることを目的としています。キャンプ等の学習会、定例会の実施、各種研修会に参加し、技術の習得を図っています。また、青年式や井頭マラソンなど、市の行事にも積極的に協力しています。



令和 5 年度「リーダー
キャンプボランティア」の様子

❖ ボーイスカウト・ガールスカウト

野外活動、奉仕活動などを通し、正しい社会生活、良い品格を身につけ、心身を鍛錬し、様々な技術・知識を習得し自信と自律心を育て、健全な明日の社会を担う立派な青少年を育成することを目的としています。本市にはボーイスカウト真岡第1団とガールスカウト栃木県第28団があり活動を行っています。

❖ 青年サークル「SEASON」

季節を楽しみながら今しかできないこと(スポーツや料理・アウトドアなどのレクリエーションから、ボランティア活動など)に幅広くチャレンジしています。なお、『サンタの贈り物』事業については、自主的運営を目指しています。



令和 5 年度
「サンタの贈り物」の様子

❖ 真岡市PTA連絡協議会

市内小中高校27単位PTAで組織し、児童生徒の健全育成をめざしています。市内小中高PTAの緊密な連絡と協議を図り、その活動の充実を期するため、研修等PTAとしての取組を行っています。



令和5年度「PTA研修会」の様子

文化振興

1. 文化芸術

❖ 真岡市文化協会

個々の文化活動を育成するとともに、文化団体相互の連絡協調を図り、市の文化振興を図ることを目的として設立された団体です。芸能民舞吟部会、舞台部会、伝統部会、展示部会、文芸部会、茶華道部会、音楽部会の7部会があります。真岡市文化祭への参加をはじめ、発表会や展示会、研修等の各種事業を行っています。

真岡市ホームページ

https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/bunka/gyomu/rekishi_bunka/bunka_geijutsu/bunkakyokai/index.html



「真岡市文化祭での発表」の様子



❖ 真岡市文化祭

市民の日頃の文化活動の発表の場であり、文化活動への参加の機運を高め、芸術文化の創造、及び地域文化の振興を図ることを目的に、10月～11月にかけて、文芸部門、ギャラリー部門、華道展、お茶会、ホール部門、将棋大会を実施します。



「真岡市文化祭(文芸部門)」の様子



「真岡市文化祭(ホール部門)」の様子

真岡市ホームページ

https://www.city.moka.lg.jp/event_bunka_sports/rekishi_bunka/bunka_geijutsu/7/index.html



❖ 真岡市音楽祭

国民文化祭「吹奏楽の祭典」(H7開催)を契機に、幼稚園、小・中・高校や、一般の音楽団体が参加し11月に実施しています。参加団体が実行委員会を組織し、運営する市民手づくりの音楽祭です。

真岡市ホームページ

<https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/bunka/event/14175.html>



「真岡市音楽祭」の様子



Ⅲ 事業の概要

❖ 真岡市美術展

市民が所有している美術品や市所有の文化財、真岡市に縁のある作品等、様々な美術作品を鑑賞し、市民の美術に対する関心を深めてもらうことを目的に、秋に久保記念観光文化交流館美術品展示館において開催しています。



「真岡市美術展」の様子

❖ 美術館めぐり

優れた美術品を鑑賞することで美術への理解を深めることを目的として、市民を対象に市外近隣の美術館を訪れる事業です。

❖ 真岡市子ども未来育成事業

子どもが音楽に親しむ環境を創出し、市内小中学校の児童生徒、及び指導者の資質向上を目的に、吹奏楽指導者を派遣しています。

❖ クラシック音楽鑑賞教室

クラシック音楽の聴きどころや作曲家や作品の紹介をやさしくわかりやすく案内し、広く市民が音楽文化に親しむ環境の充実に年2回開催しています。



「クラシック音楽鑑賞教室」の様子

❖ 若手演奏家支援事業

クラシック音楽の若手演奏家に発表の場を提供し、本市の文化芸術の向上を図るためコンサートを実施しています。



「若手演奏家支援事業」の様子

Ⅲ 事業の概要

❖ ワークショップフェスタ・もおか子ども美術館

真岡市ゆかりの美術評論家久保貞次郎氏が提唱した子どもの主体性を重視する「創造美育」の理念にもとづき、子どもが自由に創作活動を行うワークショップフェスタ、創作した作品のキャプション作成や作品展示などを行う美術館学芸員体験（子ども学芸員）、作品を久保記念観光文化交流館美術品展示館へ展示公開する「もおか子ども美術館」を一連の事業として実施しています。



「ワークショップフェスタ」の様子



「もおか子ども美術館」の様子

❖ 久保記念観光文化交流館（美術品展示館・久保資料室）

真岡市ゆかりの美術評論家久保貞次郎氏を利活用した「久保記念観光文化交流館」の内、美術品展示館・久保資料室を運営しています。

美術品展示館では久保コレクション等の企画展を年5回程度開催しています。久保資料室では久保貞次郎氏の人物像や幅広い活動、その功績等を紹介しています。

真岡市ホームページ

https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/bunka/gyomu/rekishi_bunka/bunka_geijutsu/bijutsuhin/kubokenkankoubunkakoryukan/index.html



所在地	真岡市荒町1105番地1	
延床面積	277.98㎡ (内、美術品展示館75.14㎡)	
設備	美術品展示館／久保資料室	

Ⅲ 事業の概要

❖ まちかど美術館

真岡市まちかど美術館は、真岡市所蔵美術品等を展示する常設展示室と、創作活動の成果を発表する場としての市民ギャラリーの運営を行っています。常設展示室では、久保コレクション等の企画展を年4～5回程度開催しています。

真岡市ホームページ

https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/bunka/gyomu/rekishi_bunka/bunka_geijutsu/1/index.html



所在地	真岡市田町2203番地1	
延床面積	152.5㎡	
設備	常設展示室／市民ギャラリー	

2. 文化財

❖ 指定文化財・登録文化財

本市における指定文化財、登録文化財は、国、県、市合わせて指定文化財が210件、登録文化財は16件あります(令和6年3月末現在)。登録文化財は、原則として建設後50年を経過した建築物、土木構造物及びその他の工作物のうち、登録基準に該当するものを登録しています。

※指定文化財、登録文化財の一覧は資料編に掲載しています。

❖ 埋蔵文化財の保護

地域開発や都市化等社会環境の変化により埋蔵文化財の破壊が進んでいます。本市における未確認の埋蔵文化財は多数存在するものと思われるので、各種開発事業者と連携を密にし、調査活動を活発にしてこれら埋蔵文化財の発見と保護につとめ、市民の文化財に対する理解と関心を深めています。

真岡市ホームページ(埋蔵文化財の包蔵地確認について)

https://www.city.moka.lg.jp/event_bunka_sports/rekishi_bunka/rekishi_bunkazai/11/index.html



❖ 歴史教室

県内外の歴史研究者を講師に招き、一般市民を対象としてわかりやすい教室を開催することで本市の歴史についての理解を深め、郷土愛を育んでいます。(一般対象 年6回)

○令和5年度歴史教室「新たな6つの物語が始まる」

回	期日	演題	講師
第1回	R5.5.13	「仏像の魅力～日本の仏像・真岡の仏像～」	副島 弘道 氏
第2回	R5.6.17	どうする家康？そだ！天海に聞こう！「真岡地域と天海僧正」	中川 仁喜 氏
第3回	R5.7.15	遺跡発掘報告会「中村地区遺跡群」	木下 実 氏
		遺跡発掘報告会「下飯貝遺跡」	谷中 隆 氏
第4回	R5.9.2	「江戸時代のファッションと真岡木綿～織物のゆくえとサステナブルな衣生活～」	寺内 由佳 氏
第5回	R5.9.30	「考古学から紐解く神まつり」	篠原 祐一 氏
第6回	R5.10.21	重要文化財高田山専修寺楼門解体修理工事報告会：解体編	佐藤 太一 氏

❖ 文化財めぐり

市民の文化財に対する関心を高めると共に、文化財愛護の精神の涵養をねらいとして、文化財めぐりを実施しています。(一般対象 年2回)

○令和5年度文化財めぐり

回	期日	行先
第1回	R5.6.28	足利市鏝阿寺、足利学校、織姫神社
第2回	R5.10.11	蔵造りの街並み、喜多院、川越城

❖ 伝統芸能の保存・継承

民俗芸能や年中行事、その他の無形文化財は私たちの祖先が地域の風土や長い歴史の中で守り育ててきた貴重な文化遺産です。しかし、この民俗芸能等も、近年、社会経済や生活様式の急激な変化により失われ、変質していくものがあります。

本市では、県指定無形民俗文化財である大日堂獅子舞が保存され、毎年公開されています。また、太々神楽やおはやしを守り育てている地域もあり、その継承に努めています。なお、おはやしについては「おはやし保存会連絡会」を結成、伝統芸能の積極的な保存に努めています。

❖ 大内資料館

昭和4年に大内村役場として建設され、現在は、市内から出土した土器・埴輪等の埋蔵文化財を展示し、大内資料館として活用されています。

建物は、洋風の建築意匠で、正面は3連アーチを中心にして開口部をアーチでまとめていますが、屋根等の水平線や非対称な立面構造などは、昭和初期の混沌とした日本の近代建築思想を表しています。

また、東京などで普及し始めた、当時の最新技術の鉄筋コンクリート造を採用しています。芳賀郡下で最も古い本格的鉄筋コンクリート造建築物であるとともに、現存する昭和初期の鉄筋コンクリート造建築物としては県内屈指のものといえます。

真岡市ホームページ

https://www.city.moka.lg.jp/event_bunka_sports/rekishi_bunka/rekishi_bunkazai/9/index.html



所在地	真岡市飯貝478番地3	
延床面積	347.9㎡	
設備	展示室	

❖ 岡部記念館「金鈴荘」

岡部記念館「金鈴荘」は、明治中期に岡部呉服店2代目岡部久四郎氏（創業者から数えると3代目）が建築材料等を多年にわたって集め、大工、指物師は出入りの職人を3年間東京で修業させ、十年余の歳月を費やし建築したものです。

建築してから昭和27年まで岡部家の別荘として、関係者の接待や呉服の展示会場として使用されていました。その後、昭和63年6月まで割烹料理店「金鈴荘」として利用されていましたが、同年8月に市が借り受け、真岡市近世百年の歴史・文化遺産として後世に引き継ぐため、岡部記念館「金鈴荘」として保存することになりました。旧物産会館・木綿工房（現木綿会館）の建物と併せ、平成13年1月に岡部呉服店から真岡市に寄付されました。

真岡市ホームページ

https://www.city.moka.lg.jp/event_bunka_sports/rekishi_bunka/rekishi_bunkazai/2/3358.html



Ⅲ 事業の概要

所在地	真岡市荒町2096番地1	
延床面積	415.52㎡	
設備	和室／庭園	

❖ 久保講堂

久保講堂は、昭和12年、美術評論家 久保貞次郎氏から真岡小学校に寄付の申し出があり、翌13年に建築されました。なお、その事業費は全額久保氏から寄贈されました。設計は、米国の著名な建築家で、初代帝国ホテルを設計したフランク・ロイド・ライト博士の高弟、遠藤 新博士です。

以来この講堂は、真岡小学校のみならず、芳賀地方の教育文化の殿堂としてその役割を果たし、幾多の歴史を刻み続けてきました。現在の建物は、新しい体育館の建設に伴い、昭和61年3月に移築、同年7月に完成したものです。

現在は文化芸術の振興と情操豊かな人間性の向上を図るため、美術・工芸などのギャラリーとして利用されています。また、平成9年5月、国の登録有形文化財に、栃木県の第1号として登録されました。

真岡市ホームページ

https://www.city.moka.lg.jp/event_bunka_sports/rekishi_bunka/rekishi_bunkazai/3/16999.html



所在地	真岡市田町1345番地2	
延床面積	721.14㎡	
設備	展示室／会議室／ステージ	

Ⅲ 事業の概要

❖ 二宮尊徳資料館

二宮尊徳の桜町陣屋在陣26年間の農村復興の様子や尊徳ゆかりの品々を展示する施設で、解説員が常駐しています。

真岡市ホームページ

https://www.city.moka.lg.jp/event_bunka_sports/rekishi_bunka/rekishi_bunkazai/5/16798.html



所在地	真岡市物井2013番地2	
延床面積	317.79㎡	
設備	展示室／研修室	

❖ 歴史資料保存館

旧二宮町立物部小学校高田分校は、平成20年3月23日、本校への統合によって133年におよぶ長い歴史に幕を下ろしました。そして、平成21年3月23日の真岡市との合併により、真岡市歴史資料保存館として開館しました。当館では、真岡市の歴史資料を収集・保管し、それら資料の一部を展示・公開しています。

真岡市ホームページ

https://www.city.moka.lg.jp/event_bunka_sports/rekishi_bunka/rekishi_bunkazai/rekishi_shiryo/index.html



所在地	真岡市高田2645番地	
延床面積	1496.03㎡	
設備	展示室／図書室／資料室／保管室	

3. KOBELCO 真岡いちごホール(真岡市民会館)

真岡市民の芸術文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に設置され、市民の芸術鑑賞、あるいは芸術文化活動拠点として活用されています。民間事業者が持つ専門分野における能力やノウハウを活用し、利用者サービスの向上や効果的かつ効率的な管理運営を実施するため、令和2年度から指定管理者制度を導入しています。

真岡市民会館ホームページ

<https://www.moka-ichigohall.jp>



所在地	真岡市荒町1201番地	
延床面積	4552.86㎡	
設備	大ホール／小ホール／リハーサル室／楽屋	

❖ 真岡市芸術鑑賞会

市民に広く芸術鑑賞の機会を提供し、文化芸術の普及発展を図ることを目的に、昭和58年から活動しています。会員の年会費(2,500円)で運営しています。主催映画(年間7回)の無料鑑賞、市民会館自主事業の割引、及び先行購入などが会員特典です。

真岡市ホームページ

https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/bunka/gyomu/ichigo_hall/8/index.html



スポーツの振興

1. スポーツ・レクリエーションの振興

❖ 市民ひとり1スポーツを目指したスポーツの推進

(1) スポーツ教室の開催

市民各層が気軽に参加できる教室を開催し、生涯にわたる心身の健康づくりを推進しています。

こども向け：こども体操教室・かけっこ教室 他

親子向け：わんぱく親子スポーツ教室（夏・冬） 他

一般向け：筋力トレーニング教室・ヨガ教室 他



「かけっこ教室」の様子

(2) 井頭マラソン大会

井頭公園を発着として2 km・4 km・10 kmの3コースを設定するマラソン大会です。市民をはじめ県内外各地から多くのマラソン愛好者を自然環境に恵まれた井頭公園に迎え、みどりと太陽のもとマラソンを通して参加者の親睦とコミュニケーションを図るとともに、心身ともに健康で明るい生活が送れることを目的として実施しています。市内外から毎年約2千人のランナーが集まり、本市の秋の一大イベントとして定着しています。



「井頭マラソン大会
第41回大会」の様子

(3) ニュースポーツの普及促進

「ニュースポーツ」とは、こどもから高齢者までだれでも、いつでも、どこでも、いつまでも楽しめるスポーツです。市民がスポーツに親しみ・楽しむための指導活動をしている「スポーツ推進委員」の協力のもと、ニュースポーツ教室等を開講し「市民ひとり1スポーツ」が定着するよう普及活動をしています。



ニュースポーツ「モルック」
普及活動の様子

(4) 真岡市アンバサダー事業

真岡市出身またはゆかりのある方で、スポーツの分野にて顕著な功績を残し、知名度のある方に真岡市アンバサダーとして、本市におけるスポーツ振興や市の魅力を発信してもらうことにより、地域活性化を図っています。



「真岡市アンバサダー（上野優作さん）
サッカー教室」の様子

(5)各種イベントの開催及び参画

・はが路ふれあいマラソン・真岡市駅伝競走大会 ・県南五市対抗親善総合競技大会・芳賀郡市民スポーツ交流大会・県民スポーツ大会・栃木県郡市町対抗駅伝競走大会・芳賀地区スポーツ・レクリエーション祭・スポーツ少年団競技別交流大会・栃木 SC 真岡市民デー

❖ スポーツ競技力の向上の推進

(1)スポーツ協会補助事業

広く市民各層にわたる健全なスポーツ人口の一層の増大と競技力の向上を図るため競技スポーツを振興し、各専門部を中心に各種大会を開催し、競技団体の育成強化及び指導者の充実に努めている真岡市スポーツ協会を支援しています。

(2)スポーツ推進委員活動事業

スポーツの実技の指導、その他、スポーツに関する指導・助言を行うスポーツ推進委員における、会議・研修会・各種大会等への参加派遣を行い、スポーツ活動促進のために組織の育成を図っています。

(3)総合型地域スポーツクラブ支援事業

生涯スポーツ社会の実現に向けて幅広い世代の人々が各自の興味・関心・競技レベルに合わせて、様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型の総合型地域スポーツクラブの支援をしています。

(4)スポーツ少年団活動事業

スポーツを通した幅広い体験の中で、歓びや楽しさ、仲間との連帯や友情、協調性や創造性などを育むことにより、青少年の健全育成活動を推進しています。

(5)全国大会等激励金交付事業

スポーツの国際大会又は全国大会に出場する方に対して、激励金を交付することによりスポーツ活動の奨励を行っています。

(6)少年スポーツ大会参加支援事業

少年スポーツ活動における大会参加に要する経費の一部を助成しています。大会を通して、選手の技術向上とクラブ・団体の負担を軽減することにより、選手及びクラブ・団体の増加を図っています。

(7)少年スポーツ指導員事業

少年スポーツの指導または団体の育成に携わる指導員を有するスポーツクラブに対し、指導体制の充実を図るため、少年スポーツ指導員活用交付金を交付しています。

(8)栃木SC支援事業

豊かな経験と卓越した技術をもとに、こどもたちに夢を持つことの大切さやフェアプレー精神などプロの選手に直接触れることで伝えるとともに、栃木 SC の支援と真岡市の PR を実施しています。

2. 体育施設

○総合体育館

所在地	真岡市田町1251番地1	
延床面積	3943.18㎡	
設備	アリーナ／会議室／研修室／トレーニング室	

○アオキシントックもおか武道館(真岡市武道体育館)

所在地	真岡市田町1330番地	
延床面積	2514.06㎡	
設備	アリーナ／剣道場／柔道場	

○Earth いちごスポーツ交流館(真岡市スポーツ交流館)

所在地	真岡市田町1321番地1	
延床面積	4990.1㎡	
設備	アリーナ／多目的室①／多目的室②	

○真岡ハイトラ運動公園(真岡市総合運動公園)

所在地	真岡市小林1900番地	
敷地面積	27.2ha	
設備	陸上競技場／サッカー場／多目的広場／弓道場／相撲場／クラブハウス／子ども広場／健康広場／テニスコート／乗り物エリア／運動広場 1	

※主な施設のみ掲載。その他の施設概要は資料編に掲載。

❖ 体育施設の整備及び有効活用

- 体育施設の整備
 - ・各体育施設の維持・管理
 - ・各体育施設的环境改善
- 体育施設の有効活用

❖ 体育施設の建設促進

- 総合運動公園整備事業の推進

❖ 学校体育施設の開放

- 学校体育施設の有効活用
 - ・地域住民のスポーツの拠点としての活用

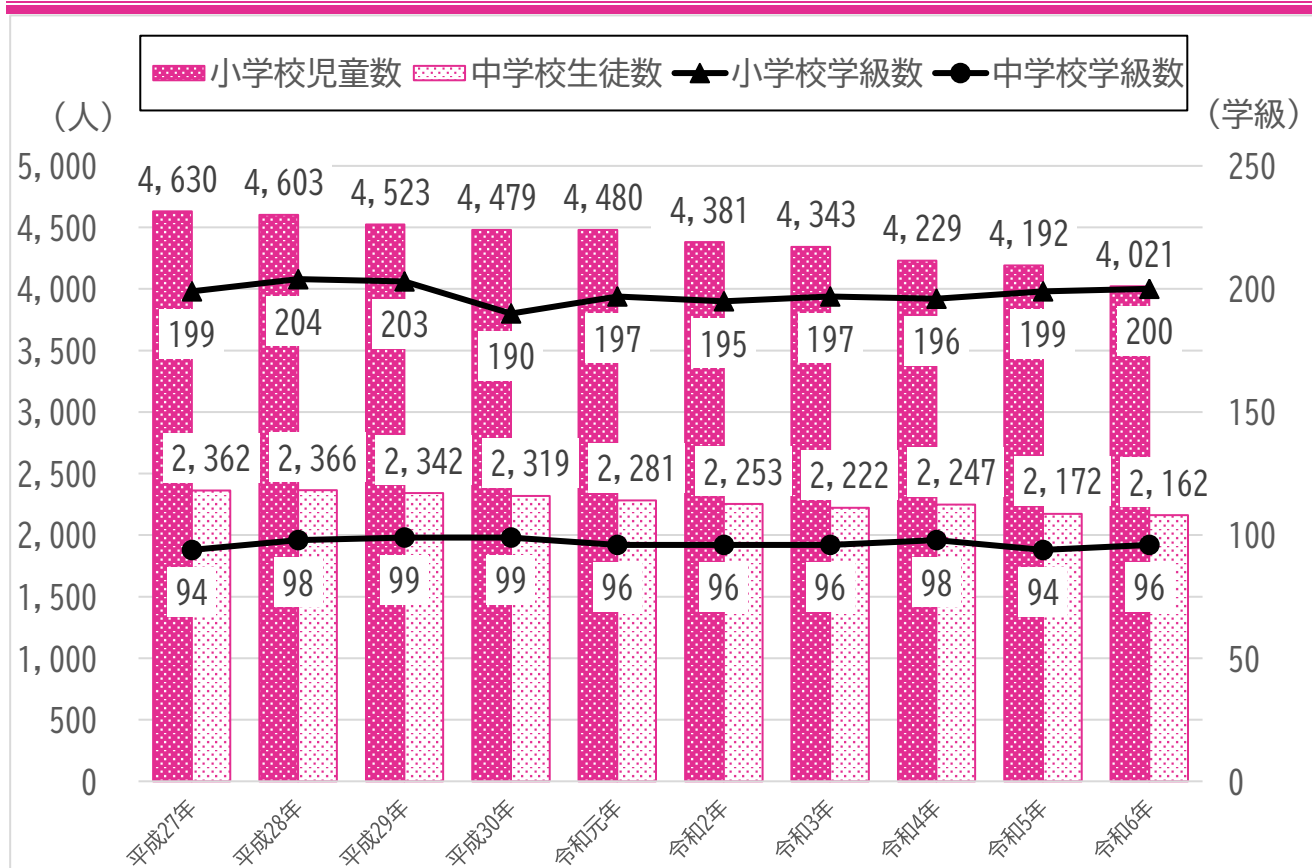
IV 資料編

施設の概要と利用状況等の推移

学校教育

1. 児童生徒学級数・教職員数

❖ 真岡市の児童・生徒数の推移（各年5月1日現在）



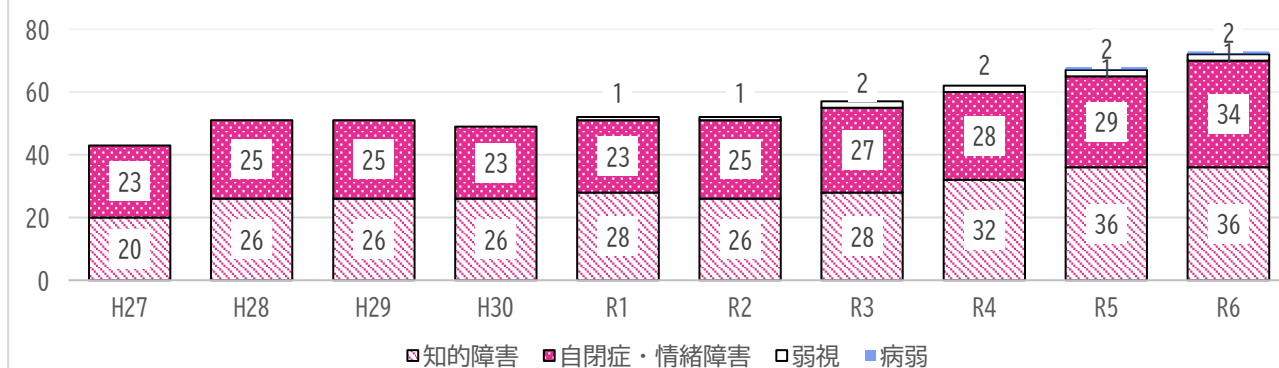
❖ 真岡市の市立学校教職員数（令和6年5月1日現在）

	教諭	養護	講師	非常勤	県事	栄養	市職	合計
小学校	277	15	21	48	15	3	14	393
中学校	158	9	25	21	10	1	9	233
計	435	24	46	69	25	4	23	626

❖ 市内小中学校の特別支援学級設置状況(令和6年5月1日現在)

学校名	特別支援学級数			
	知的障害	自閉症・情緒障害	弱視	病弱
真岡小	5	3		
真岡東小	3	2	0	1
真岡西小	4	3		
亀山小	2	1		
大内中央小	1	1		
大内東小	1	1		
大内西小		1		
山前小	1	1		
西田井小		1		
中村小	2	2		
長田小	2	2		
長沼小	1	1		
久下田小	2	2		
物部小	1	1		
真岡中	3	1		
真岡東中	1	2	1	
真岡西中	1	2		
大内中	1	1		
山前中	1	1		
中村中	2	2		
長沼中	1	1		
久下田中	1	1		
物部中	1	1		
小学校計	25	22	0	1
中学校計	12	12	1	0
合計	37	34	1	1

特別支援学級数の推移(小中)



2. 学校教育関係施設一覧

❖ 市立学校一覧(令和6年5月1日現在)

小学校

	校 名	校 長	教 頭	所 在 地	電 話	教職員総数	学級数※	児童・生徒数	校地面積	校舎面積	プールの有無
1	真岡小学校	小 林 妙 子	福 田 隆 一	台町4184	82-4126	55	27	605	52,240.17	9,235.48	有
2	真岡東小学校	亀 田 賢 一	平 野 睦 郎	東光寺1-4-1	84-3690	42	20	422	32,373.42	6,206.29	有
3	真岡西小学校	中 島 浩 之	川 又 信 昭 野 澤 康 子	熊倉3-33-6	84-1311	60	30	763	36,990.21	10,795.18	有
4	亀山小学校	入 江 聡	青 柳 晋 作	亀山1037-3	84-6250	26	14	274	24,732.00	4,446.78	有
5	大内中央小学校	渡 部 睦 裕	梁 木 幸 子	飯貝457-1	82-2530	16	8	110	19,594.71	3,851.05	有
6	大内東小学校	植 木 伸 幸	高 野 久 美子	赤羽30-1	82-5139	16	8	70	23,616.00	3,366.00	有
7	大内西小学校	神 保 元 康	黒 崎 雅 章	下籠谷2472-1	82-5134	14	7	79	22,380.17	3,766.00	有
8	山前小学校	阿 久 津 裕美	横 山 真 澄	小林672-2	82-2527	26	11	221	18,582.02	4,947.81	有
9	西田井小学校	日 下 田 宗司	大 川 厚 子	西田井1505-2	82-2528	15	7	79	17,473.44	4,067.51	有
10	中村小学校	市 村 睦 子	秋 山 祥 子	中302	82-2533	29	18	407	24,136.99	4,896.85	有
11	長田小学校	菅 野 康 三	関 澤 亜 矢子	長田1302-1	82-1750	29	17	369	23,042.12	4,091.93	有
12	長沼小学校	久 保 等	大 谷 真 奈美	長沼716	74-0194	15	8	112	14,051.71	3,981.21	有
13	久下田小学校	添 谷 敦	小 林 唱 絵	久下田491	74-0042	32	16	352	21,355.76	8,607.93	有
14	物部小学校	飯 島 志 津栄	櫻 井 涉	物井1180	75-0004	18	9	158	21,461.59	4,977.04	有

計 393 200 4,021

中学校

	校 名	校 長	教 頭	所 在 地	電 話	教職員総数	学級数※	児童・生徒数	校地面積	校舎面積	プールの有無
1	真岡中学校	柳 田 伸 二	小 峰 裕 一	並木町3-120	82-5135	43	19	507	62,939.57	12,002.58	有
2	真岡東中学校	市 村 政 幸	川 口 真 一 郎	田町1256-18	82-2535	33	14	306	35,592.10	6,726.34	有
3	真岡西中学校	古 澤 英 明	櫻 井 輝 之	西高間木531	84-6223	30	12	308	43,469.23	7,538.00	有
4	大内中学校	上 野 光 男	豊 田 正 人	飯貝1159	82-2541	19	7	127	28,536.00	5,573.99	有
5	山前中学校	大 平 秀 明	箕 輪 良 行	小林784	82-2540	19	8	144	37,626.00	6,647.89	有
6	中村中学校	小 林 利 之	小 林 勝	中203	82-2542	32	17	402	33,327.20	7,018.10	有
7	長沼中学校	野 澤 康 広	齋 藤 珠 美	長沼706	74-0192	17	5	76	21,733.30	4,921.23	有
8	久下田中学校	皆 川 浩 司	吉 村 拓 右	久下田1304	74-0068	25	9	209	44,816.39	6,003.28	有
9	物部中学校	柳 利 道	齊 藤 由 美子	高田1838	75-0008	17	5	83	33,101.00	5,654.67	有

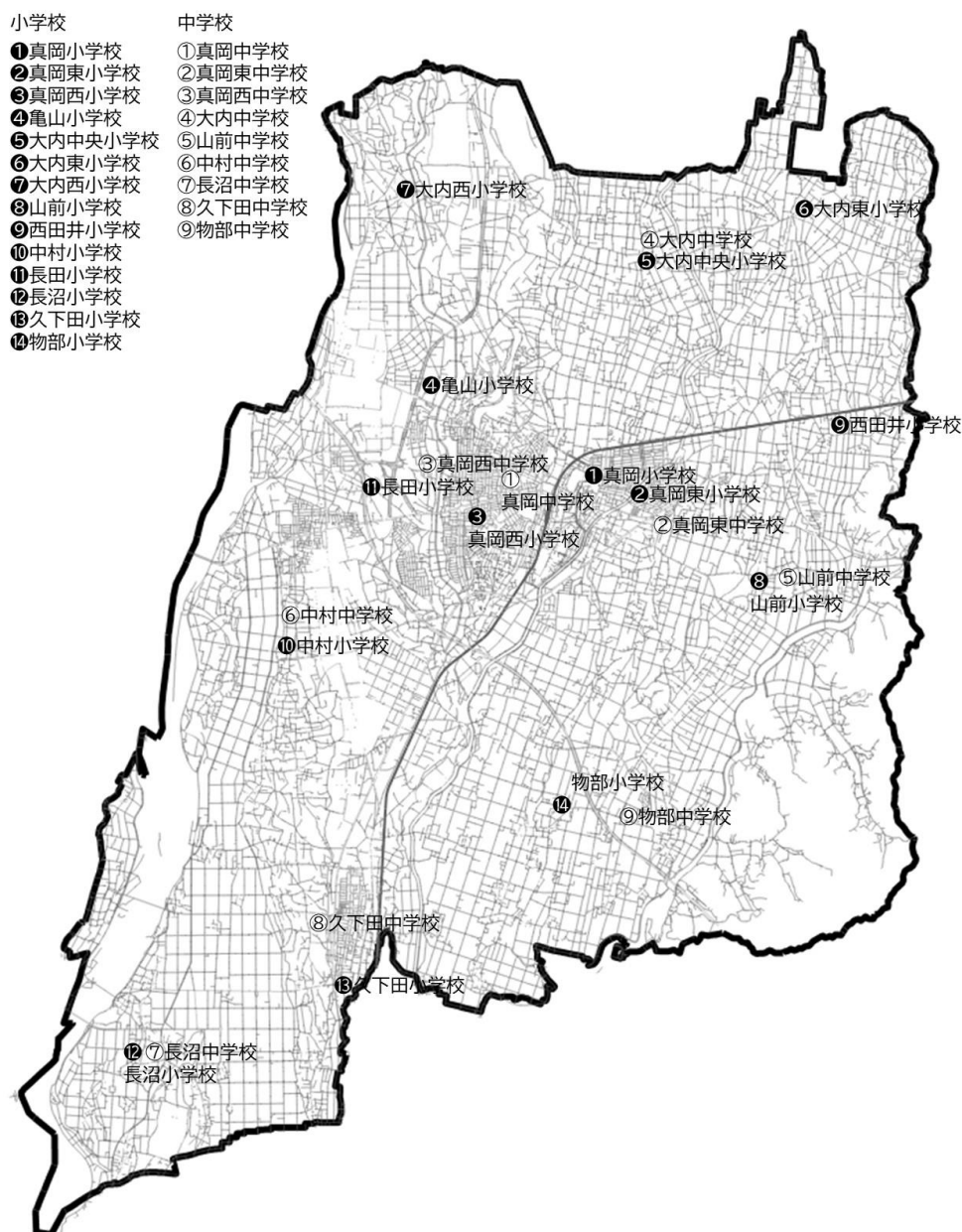
計 235 96 2,162

※学級数は特別支援学級を含む

❖ その他学校教育関係施設

名	称	所 在 地	建築年月	構 造	面 積 (m ²)	電話
第一学校給食センター		真岡市東郷496-1	S54.4	鉄筋コンクリート2階建	1,642.59	82-3845
第二学校給食センター		真岡市大根田1549	H15.3	鉄骨造2階建	1,324.75	74-0321
自然教育センター		真岡市柳林1140-2	S60.3	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	4,179.19	83-1277
科学教育センター		真岡市田町1349-1	H5.3	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上2階一部地下1階建	3,544.40	83-6611

❖ 市立学校配置図



3. 施設利用状況の推移

❖ 自然教育センター・科学教育センター

施設名	利用人数（人）		
	R3	R4	R5
自然教育センター	376	4,050	4,639
科学教育センター	4,310	4,047	5,669

社会教育

1. 社会教育関係施設一覧

❖ 施設概要

名	称	所 在 地	建 築 年 月	構 造	施 設 の 概 要	面 積 (㎡)	電 話	担 当 課
Auto Mirai 真岡公民館 (真岡市公民館)		真岡市荒町 1201	S49.3	鉄筋コンクリート造2階建	事務室・会議室・調理室 等	1,254.80	82-7151	生涯学習課
KOBELCO真岡いちごホール (真岡市市民会館)		真岡市荒町 1201	S49.8	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造4階建	大ホール(1,109名収容) 小ホール(300名収容)	4,552.86	83-7731	文化課
にのみや“とちおとめ”ホール (生涯学習館)		真岡市さくら 1-15-1	S60.11	鉄筋コンクリート造 平屋建	ホール全開 (1,005名収容) ホール半開 (501名収容) 多目的ホール 等	2,013.30	74-0107	生涯学習課
真岡市公民館真岡西分館		真岡市西高間木 539-1	H6.10	鉄筋コンクリート造2階建	事務室・会議室・図書室・調理室 等	1,128.64	84-6781	生涯学習課
真岡市公民館山前分館		真岡市小林 935-1	S56.6	鉄筋コンクリート造平屋建	事務室・会議室・調理室・多目的 ホール 等	1,478.77	82-2802	生涯学習課
真岡市公民館大内分館		真岡市飯貝529	S63.4	鉄筋コンクリート造平屋建	事務室・会議室・調理室・多目的 ホール 等	1,580.90	82-2704	生涯学習課
真岡市公民館中村分館		真岡市中247	S60.7	鉄筋コンクリート造平屋建	事務室・会議室・調理室・多目的 ホール 等	1,324.23	82-2902	生涯学習課
真岡市公民館二宮分館		真岡市石島 893-15	H21.10	鉄筋コンクリート造3階建	事務室・会議室・調理室・ギャラ リー・多目的ホール 等	6,853.32	74-0107	生涯学習課
真岡市長沼会館		真岡市長沼 1086	S57	木造平屋	会議室・和室	167.49	74-0107	生涯学習課
真岡市物部会館		真岡市物井 4307	H7.3	木造平屋	研修室・和室・調理実習室	260.01	74-0107	生涯学習課
真岡市久下田駅 さくらホール		真岡市久下田 800-2	H6.3	鉄骨コンクリート造2階建	1階 ギャラリーホール 2階 多目的ホール	278.33	74-0107	生涯学習課
真岡市にのみや野外活動センター		真岡市砂ヶ原283	H16.6	鉄骨造平屋建	事務室・会議室・実習室・シャワー室・ 炊事棟・倉庫・野外炉・テントサイト	382.75	73-2277	生涯学習課
真岡市立図書館 (複合交流拠点施設「monaca」内)		真岡市荒町5131	R6.9	鉄骨造地上4階建	メインライブラリー・もおかつ子ラ イブラリー・自動貸出機 等	7,144.87 (施設全体の面積)	84-6151	生涯学習課
真岡市立二宮図書館 (二宮コミュニティセンター内)		真岡市石島893- 15	H21.10	鉄筋コンクリート造3階建	開架室・学習コーナー・こどもおは なし室・書庫 等	981.96	74-0286	生涯学習課
青年女性会館		真岡市田町 1344	S55.3	鉄筋コンクリート造2階建	事務室・会議室・青年室・女性室・ ホール 等	1,410.19	82-7151	生涯学習課
久保講堂		真岡市田町 1345-1	S13	木造2階建 左右塔屋付・瓦葺 西洋式トラス構造	講堂・会議室・舞台	715.70	83-7735	文化課
二宮尊徳資料館		真岡市物井 2013-2	H12	鉄筋コンクリート平屋建	展示室・収蔵庫・事務室・会議室 等	317.79	75-7155	文化課
岡部記念館「金鈴荘」		真岡市荒町 2096-1	S63.8	木造2階建・土蔵造	和室7部屋・ホール・厨房 等	415.50	83-2560	文化課
大内資料館		真岡市飯貝478	S4	鉄筋コンクリート2階建	展示室・スカウトハウス	347.90	83-7735	文化課
歴史資料保存館		真岡市高田 2465	H21	鉄筋コンクリート2階建	事務室・研修室・展示室・図書 室・収蔵庫 等	1,496.03	83-7735	文化課
久保記念観光文化交流館美術品展示館 久保資料室		真岡市荒町 1105-1	H26	美術品展示館 軽量鉄骨造 久保記念館(2階資料室) 木造	美術品展示館・資料室1・資料室 2・事務室	277.98㎡ (内、美術品展 示館75.14㎡)	82-2012	文化課
真岡市まちかど美術館		真岡市田町 2203-1	H29	鉄骨造3階建	常設展示室・市民ギャラリー 等	152.5㎡	080-8736-3984	文化課
総合体育館		真岡市田町 1251-1	S52.3	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建	競技場・トレーニング室・事務室・ 会議室・研修室	3,943.18	84-2811	スポーツ振興課
アオキシントックもおか武道館 (真岡市武道体育館)		真岡市田町 1330	S62.3	鉄筋コンクリート造	柔剣道場(1階) 競技場(2階)・事務室	2,514.06	84-2811	スポーツ振興課

IV 資料編

名 称	所 在 地	建 築 年 月	構 造	施 設 の 概 要	面 積 (㎡)	電 話	担 当 課
Earthいちごスポーツ交流館 (真岡市スポーツ交流館)	真岡市田町 1321-1	S59.2	1階鉄筋コンクリート造 2階鉄骨造	主競技場・多目的室	4,990.10	84-2811	スポーツ振興課
二宮体育館	真岡市堀込 1000	S54.3	鉄筋コンクリート造	競技場・事務室	1,679.84	74-3177	スポーツ振興課
山前南地域体育館	真岡市東大島713	S56.11	鉄骨造	競技場	680.00	84-2811	スポーツ振興課
物部地域体育館	真岡市高田 2656	S62.12	鉄骨造	競技場	728.00	74-3177	スポーツ振興課
東運動場	真岡市小林 972-1	S47.3		野球場	43,003.00	84-2811	スポーツ振興課
北運動場	真岡市飯貝 1377	S53.8		野球場・サッカー場・テニスコート	44,991.00	84-2811	スポーツ振興課
二宮運動場	真岡市堀込1000	S52.3		野球場・補助球場・テニスコート	64,280.00	74-3177	スポーツ振興課
二宮東部運動場	真岡市水戸部 232-1	S55.4		野球場	18,270.00	74-3177	スポーツ振興課
市民公園	真岡市田町 1325	S53.4		ソフトボール場(2面)	12,700.00	84-2811	スポーツ振興課
大谷台公園	真岡市大谷台町 11	S42.12		ソフトボール場	8,962.00	84-2811	スポーツ振興課
松山公園	真岡市松山町13	S41.3		広場	14,743.00	84-2811	スポーツ振興課
三ツ谷公園	真岡市松山町22	S41.3		ソフトボール場	39,570.00	84-2811	スポーツ振興課
勝瓜公園	真岡市鬼怒ヶ丘 12	S41.3		野球場・サッカー場	39,830.00	84-2811	スポーツ振興課
鬼怒自然公園	真岡市柳林 1140-2地先	S56.3		野球場・サッカー場	71,448.00	84-2811	スポーツ振興課
きぬわいわい広場	真岡市砂ヶ原 地先	H24.8		多目的芝生広場	62,376.00	74-3177	スポーツ振興課
真岡ハイトラ運動公園 (真岡市総合運動公園)	真岡市小林1900	H26.3		陸上競技場・サッカー場・多目的広場・相撲場・弓道場・クラブハウス・テニスコート・子ども広場・健康広場・乗り物エリア・運動広場1等	27.2(ha)	82-7771	スポーツ振興課

2. 施設利用状況の推移

❖ 市公民館・分館・にのみや野外活動センター

施設名	利用件数（件）			利用人数（人）		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5
Auto Mirai 真岡公民館(真岡市公民館)	1,376	1,797	2,006	16,499	24,685	27,911
青年女性会館	1,208	1,479	1,591	15,210	19,179	20,722
山前分館	1,216	1,289	1,246	16,037	16,115	16,047
大内分館	1,082	1,329	1,636	10,308	21,220	24,119
中村分館	1,184	1,294	1,287	15,793	16,207	16,785
真岡西分館	858	1,022	1,092	11,353	14,232	15,163
二宮分館	1,543	1,748	1,723	37,233	37,831	34,279
長沼会館	71	22	30	1,126	589	665
物部会館	59	55	110	1,617	2,145	3,263
久下田駅さくらホール	9	11	42	116	127	553
にのみや野外活動センター	25	44	54	221	708	1,046

❖ 図書館

施設名	利用人数（人）		
	R3	R4	R5
真岡市立図書館	99,977	112,021	111,702
真岡市立二宮図書館	36,861	40,459	41,235
真岡西分館図書室	7,811	8,878	9,342

❖ 生涯学習館・市民会館

施設名	利用件数（件）			利用人数（人）		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5
にのみや“とちおとめ”ホール (生涯学習館)	218	194	144	5,507	6,469	7,157
KOBELCO真岡いちごホール(真岡市民会館) 大ホール	135	172	201	26,530	38,544	52,235
KOBELCO真岡いちごホール(真岡市民会館) 小ホール	243	304	324	8,893	15,431	22,010

教員研修の実施状況

令和5年度 教員の研修等

No.	研修名	期日	参加者	対象
1	学校経営研修会 第1日	7月11日	小中学校1・2年目の校長(講話は悉皆)	一市四町
2	学校経営研修会 第2日	10月12日	小中学校1・2年目の校長(講話は悉皆)	一市四町
3	主幹教諭・教務主任研修会	5月12日	小中学校主幹教諭・教務主任	一市四町
4	道徳教育研修会	11月10日	小中学校教員	一市四町
5	教育課題研修会	8月7日	小中学校教員	一市四町
6	真岡市学力向上推進研修会(第1回)	7月27日	小中学校学習指導主任・学力向上推進リーダー等	真岡市
7	真岡市学力向上推進研修会(第2回)	1月18日	小中学校学習指導主任・学力向上推進リーダー等	真岡市
8	中学校英語担当者連絡会	11月17日	中学校英語科教員	真岡市
9	教職2～4年目教員支援事業	・第1日、5月19日 ・第2日、8月17日 ・第3日、6月～2月	小中学校2～4年目の教員	真岡市

教育国際交流の実績

❖ 真岡中学校・真岡東中学校

年度	真岡中学校						真岡東中学校					
	経過	生徒	引率	生徒	引率	保護者	経過	生徒	引率	生徒	引率	保護者
S63							教師Goddard中訪問 McNevin校長と会談、相互交流の合意を得る					
H1							第1次派遣			40	6	6
H2							第1次受け入れ	40	8			
H3							第2次派遣 11月9日姉妹校締結			40	4	3
H4							第3次派遣 受け入れは湾岸戦争のため延期			40	7	
H5							第2次受け入れ	41	9			
H6							第4次派遣					
H7							第3次受け入れ	36	9			
H8							第5次派遣			40	4	3
H9							第4次受け入れ	43	8			
H10							第6次派遣			41	4	3
H11							第5次受け入れ	43	8			
H12							第7次派遣			40	4	3
H13	国際交流について、相手校AustralindSenior High Schoolを決定し、話し合いを進める。						第6次受け入れ	45	5			
H14	視察団派遣予定が同時多発テロの影響で延期						同時多発テロのため派遣中止					
H15	視察団派遣(内1名は校長)				4	1	第7次受け入れ	45	5			
H16	第1次派遣 (姉妹校締結10月30日)			31	4	2	第8次派遣			41	4	3
H17	第1次受け入れ	18	6				第8次受け入れ	41	5			
H18	第2次派遣			39	4	1	第9次派遣			37	4	3
H19	第2次受け入れ	26	8				第9次受け入れ	39	7			
H20	第3次派遣 (11/7-17)			32	4		第10次派遣 (11/8-16)			32	4	2
H21	第3次受け入れ(9/25-30)	24	4				第10次受け入れ(7/22-28)	30	5			
H22	第4次派遣 (11/4-14)新型インフルエンザの影響で中止						第11次派遣 (11/12-20)新型インフルエンザの影響で中止					
H23	第4次派遣 (11/3-13)			18	3	1	第11次受け入れ(7/23-29)	25	5			
H24	第4次受け入れ 原発事故の影響で中止						第11次派遣 (11/10-18)			22	3	2
H25	第4次受け入れ(9/19-24)	11	3				第12次受け入れ(引率のうちP1)(7/25-31)	21	3			
H26	第5次派遣 (11/7-16)			17	3	0	第12次派遣 (11/7-15)			19	3	2
H27	第5次受け入れ(10/1-6)	25	3				第13次受け入れ (7/23-29)	21	5			
H28	第6次派遣(11/5-11/14)			22	4	1	第13次派遣(10/30-11/7)			20	3	2
H29	第6次受け入れ(9/16-9/21)	18	3				第14次受け入れ(7/22-7/28)	29	4			
H30	第7次派遣(11/9-11/18)			20	3		第14次派遣(10/27-11/4)			26	3	2
R1	第7次受け入れ(9/14-9/19)	17	3				第15次受け入れ(7/26-8/1)	21	5			
R2	第8次派遣(11/7-11/16)			8	3		第15次派遣(10/30-11/7)			26	3	1
R3	第8次受け入れ(新型コロナウィルス感染症対応により中止)						第16次受け入れ(新型コロナウィルス感染症対応により中止)					
R4	第9次派遣→第8次受入→中止						第16次派遣→中止					
R5	受入れ→中止						受入れ→派遣希望→中止					
R6	第9次派遣(10/29-11/4)			20	3	0	第16次派遣 (10/27-11/3)			29	3	0
合計		139	30	207	35	6		520	91	493	59	35

IV 資料編

❖ 真岡西中学校・大内中学校

年度	真岡西中学校						大内中学校					
	経過	受入		派遣			経過	受入		派遣		
		生徒	引率	生徒	引率	保護者		生徒	引率	生徒	引率	保護者
S63												
H1												
H2												
H3	台湾斗六扶輪社(ロータリークラブ)より学校間の友好関係締結の提案											
H4	正心高級中学校長が真岡西中を表敬訪問。姉妹校締結の申し込みをする。真岡西中9名が正心高級中學を訪問。平成5年7月に姉妹校締結することで合意											
H5	第1次受け入れ姉妹校締結7月23日	30	9									
H6	第1次派遣			30	4	4						
H7	第2次受け入れ(引率のうちP4)	30	9									
H8	第2次派遣 (教委から1名随行)			30	5	4						
H9	第3次受け入れ(引率のうちP3)	30	7									
H10	第3次派遣			28	4	3	学校・PTA代表が北京第五中を訪問し、友好交流について協議 姉妹校締結11月12日					
H11	第4次受け入れ(引率のうちP4)	32	5				北京第五中学校長、副校長が大内中訪問、協議 第1次派遣			20	4	2
H12	第4次派遣			26	4	2	第1次受け入れ	10	2			
H13	第5次受け入れ(引率のうちP4)	32	7				第2次訪問は同時多発テロの影響で中止					
H14	第5次派遣			20	4	1	第2次受け入れ	10	2			
H15	第6次受け入れは新型コロナウイルスの影響で延期						第2次派遣			20	4	2
H16	第6次受け入れ(引率のうちP4)	35	8				第3次受け入れは新型コロナウイルスの影響で中止					
H17	第6次派遣			35	4	1	第3次派遣			20	4	2
H18	第7次受け入れ(引率のうちP1通訳1)	33	9				第3次受け入れ	20	8			
H19	第7次派遣 (11/15-21)			24	4	2	第4次派遣			20	4	2
H20	第8次受け入れ(引率のうちP1通訳1) (7/24-28)	34	7				第4次受け入れ(7/26-31)	19	8			
H21	第8次派遣 (11/12-18)新型インフルエンザの影響で中止						第5次派遣 (10/31-11/5)			12	4	2
H22	第8次派遣 (11/11-17)			28	4	1	第5次受け入れ(7/22-27)	9	6			
H23	第9次受け入れ 原発事故の影響で中止						第6次派遣 (11/2-7) 中止(中国船事件による)					
H24	第9次受け入れ(引率のうちP3通訳1) (7/5-9)	27	8				第6次受け入れ 原発事故の影響で中止					
H25	第9次派遣 (11/7-13)			20	4	3	第6次派遣 尖閣諸島国有化の影響で中止					
H26	第10次受け入れ (引率者のうち通訳1) (7/3-7)	30	7				第6次受け入れ(10/4-9)	11	4			
H27	第10次派遣(11/5~11/10)			30	3	2	諸事情により派遣中止。代案としてオーストラリア シドニー The Lakes Christian Collegeを訪問(10/29-11/4)			11	3	
H28	第11次受け入れ(7/7~7/11)	26	10				第6次派遣(9/15~9/18)			16	4	
H29	第11次派遣(11/2~11/8)			30	4	2	第7次受け入れ(9/30~10/5)	9	4			
H30	第12次受け入れ(7/26~7/30)	26	10				第7次派遣(9/11~9/15)			12	4	1
R1	第12次派遣(10/31~11/6)			29	4	2	第8次受け入れ 相手国政策の都合で中止					
R2	第13次受け入れ(新型コロナウイルス感染症対応により中止)						第8次派遣 相手国政策の都合で今後の派遣、受入ができない状況。			18	3	1
R3	第13次派遣→中止						オーストラリアレッドリンチ州立高等学校 11/2~11/8					
R4	受入れ→中止						第9次受け入れ(中国情勢による)					
R5	第13次派遣・受入(両方実施) 派遣(11/2~11/8) 受入(7/20~7/24)	28	4	23	3	1	第9次派遣→中止					
合計		393	100	353	51	28	第9次派遣(台湾:安平、石碇、伊太利) (11/4~11/10)			14	3	0
								88	34	163	37	12

IV 資料編

❖ 山前中学校・中村中学校

年度	山前中学校						中村中学校					
	経過	受入		派遣			経過	受入		派遣		
		生徒	引率	生徒	引率	保護者		生徒	引率	生徒	引率	保護者
S63												
H1												
H2												
H3												
H4												
H5												
H6												
H7												
H8												
H9												
H10												
H11												
H12												
H13												
H14												
H15												
H16												
H17							サンドバグミドルスクール視察団派遣 (教委から1名随行)				3	2
H18	サドブルックマグネットミドルスクールが 非公式に訪問 視察団派遣	10	1				第1次派遣(教委から2名随行) 姉妹校締結 11月3日			16	3	2
H19	第1次派遣(市教委2名随行) 姉妹校締結 11月9日 (11/7-16)			20	3	2	第1次受け入れ(引率うち1名はP)(7/6-14)	17	4			
H20	第1次受け入れ(7/10-18)	7	2				第2次派遣 (11/11-19)			16	3	2
H21	第2次派遣 (11/11- 11/20)新型 インフルエンザの影響で中止						第2次受け入れ(7/7-14)	17	4			
H22	第2次受け入れ (7/13-20) 第2 次派遣 (11/10-19)	6	1	22	3	0	第3次派遣 (11/3-11)			16	2	4
H23	第3次受け入れ 原発事故の影響で中止						第3次受け入れ 原発事故の影響で中止					
H24	第3次派遣 (11/13-22)			20	3	0	第4次派遣 (11/8-16)			13	3	2
H25	第4次派遣 (11/13-22)			18	3	0	第4次受け入れ(7/10-17)	14	4			
H26	第5次派遣 (11/13-17)			12	4		第5次派遣 (11/3-11)			16	3	2
H27	第3次受け入れ(8/3~8/7)校長のみ来日		1				第5次受け入れ(7/6~7/13)引率者のうち一 人はPTA代表	15	5			
H28	第6次派遣 (11/10~11/17)			20	3	0	第6次派遣 (11/3~11/11)			22	3	2
H29	第7次派遣(11/9~11/16)			15	3		第6次受け入れ(11/9~11/16)	16	5			
H30	第3次受け入れ 相手国派遣費用等の都合 で中止。						第7次派遣(10/25~11/3)			24	3	3
R1	第8次派遣(11/7~11/14)			10	3		第7次受入(7/23~7/30)	20	6			
R2	第3次受け入れ(相手校予算による)						第8次派遣(新型コロナウイルス感染症対応 により中止)					
R3	第9次派遣→中止						第8次受入→中止					
R4	受入れ→派遣希望→中止						派遣→中止					
R5	第9次派遣 (11/5~11/11)			16	3	0	第8次派遣(10/27~11/3)			29	3	0
合計		23	5	153	30	2		99	28	152	26	19

IV 資料編

❖ 二宮3校(長沼中学校・久下田中学校・物部中学校)

年度	二宮地区					
	経過	受入		派遣		
		生徒	引率	生徒	引率	保護者
S63						
H1						
H2						
H3						
H4						
H5						
H6						
H7						
H8						
H9						
H10						
H11	イギリス方面視察				2	
H12	第1次派遣(教委1名随行)			16	3	
H13	第2次派遣(教委1名随行)			16	3	
H14	第3次派遣(教委1名随行)			16	3	
H15	第4次派遣(教委1名随行)			16	3	
H16	第5次派遣			16	3	
H17	第6次派遣			16	3	
H18	第7次派遣			16	3	
H19	第8次派遣			16	3	
H20	第9次派遣			16	3	
H21	第10次派遣新型インフルエンザの影響で中止					
H22	第10次派遣 (11/3-9)			18	3	
H23	第11次派遣 (11/2-8)			20	3	
H24	第12次派遣 (10/30-11/5)			24	3	
H25	第13次派遣 (10/29-11/4)			24	3	
H26	第14次派遣 (11/4-11/10)			24	3	
H27	第15次派遣(11/3～11/9)	0		22	3	
H28	第16次派遣 ISのテロ警戒のため、派遣中止					
H29	第17次派遣(11/1～11/7)			26	4	
H30	第18次派遣(10/31～11/6)			16	4	
R1	第19次派遣(10・30～11/5)			18	4	
R2	第20次派遣(新型コロナウイルス感染症対応により中止)					
R3	第21次派遣→中止					
R4	派遣→中止					
R5	第1次派遣(ハーヴィシニアハイスクール) (10/29～11/4)			27	4	0
合計		0	0	363	63	0

文化財一覽

(令和6年3月31日現在)

指定文化財

1. 国指定文化財 (5 件)

種 別	名 称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日	
有形文化財	彫 刻	木造顕智坐像附木造真仏坐像	1 軀	高田1482	専修寺	平18. 6. 9
	建造物	専修寺 御影堂 如来堂 楼門 総門	4 棟	高田1482	専修寺	昭56. 6. 5
	建造物	大前神社 本殿 拝殿及び幣殿	2 棟	東郷937-1	大前神社	平30.12.25
記 念 物	史 跡	桜町陣屋跡		物井105-13	真岡市	昭 7. 3.25
	史 跡	専修寺境内		高田1482外	専修寺	昭42. 7. 6

2. 栃木県指定文化財 (62 件)

種 別	名 称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日	
有形文化財	絵 画	絹本着色 芳賀禪可入道 高名像	1 幅	田町2317	海潮寺	昭37.12.14
	絵 画	紙本着色 涅槃図	1 幅	下籠谷728	無量寿寺	昭39. 4.10
	彫 刻	金銅 一光三尊仏	3 軀	下籠谷728	無量寿寺	昭33. 8.29
	彫 刻	木造 大日如来坐像	1 軀	中2402	遍照寺	昭36. 5. 6
	彫 刻	金銅 阿弥陀如来立像	1 軀	寺内75	莊嚴寺	昭38.11. 1
	彫 刻	木造 仏頭残欠	3 片	寺内75	莊嚴寺	昭39. 1. 7
	彫 刻	木造 薬師如来坐像	1 軀	田町1054	般若寺	昭39.12. 8
	彫 刻	銅造 阿弥陀如来立像	1 軀	根本55	能仁寺	昭39.12. 8
	彫 刻	木造 薬師如来立像	1 軀	東大島1218	薬王寺	昭40.10. 5
	彫 刻	木造 薬師如来坐像	1 軀	南高岡259	仏生寺	昭41. 2. 8
	彫 刻	金銅 勢至菩薩立像	1 軀	南高岡259	仏生寺	昭41. 2. 8
	彫 刻	木造 狛犬	2 軀	中556	中村八幡宮	昭61. 3.28
	彫 刻	木造 釈迦三尊像	3 軀	根本55	能仁寺	平 2. 1.26
	彫 刻	木造 阿弥陀如来坐像	1 軀	寺内75	莊嚴寺	平 5. 2.19
		附 像内納入品				
	彫 刻	木造 不動明王立像	1 軀	寺内75	莊嚴寺	平 6. 8.23
		附 像内納入品				
	彫 刻	木造 不動明王立像・毘沙門天立像	2 軀	寺内75	莊嚴寺	平11. 1.18
	彫 刻	木造 聖観音菩薩立像	1 軀	寺内75	莊嚴寺	平11. 1.18
	彫 刻	木造 十二神将立像	12 軀	南高岡259	仏生寺	平17. 1.25
	彫 刻	銅造 観音勢至菩薩立像（脇侍）	2 軀	高田1482	専修寺	昭34.11.27
	彫 刻	木造 親鸞聖人坐像	1 軀	高田1482	専修寺	昭37. 4.24
	彫 刻	木造 涅槃像	1 軀	高田1482	専修寺	昭39. 4.10
	彫 刻	木造 阿弥陀如来立像	1 軀	高田1482	専修寺	昭46. 2.16
	彫 刻	木造 聖徳太子像（南無仏太子像）	1 軀	高田1482	専修寺	昭46. 2.16
	彫 刻	銅造 阿弥陀如来坐像	1 軀	久下田801	芳全寺	昭34. 3.13

IV 資料編

種 別	名 称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財	工芸品 銅鐘	1口	下籠谷728	無量寿寺	昭33. 8. 29
	工芸品 銅燈籠	1基	東郷937	大前神社	昭34. 11. 27
	工芸品 銅鐘	1口	根本55	能仁寺	昭36. 5. 6
	工芸品 太刀 無銘	1口	東郷937	大前神社	昭40. 1. 26
	工芸品 刀 銘 宇都宮藩臣細川義規作	1口	堀内	個 人	昭55. 2. 8
	工芸品 太刀 銘 義光附糸巻太刀拵	1口	中556	中村八幡宮	昭61. 3. 28
	工芸品 太刀 銘 盛重附糸巻太刀拵	1口	中556	中村八幡宮	昭61. 3. 28
	工芸品 刀 銘 包幸	1口	中556	中村八幡宮	昭61. 3. 28
	工芸品 脇指 銘 包幸	1口	中556	中村八幡宮	昭61. 3. 28
	書 跡 下野国誌稿本	6冊	亀山	個 人	昭29. 9. 7
	書 跡 海潮寺文書	14通	田町2317	海潮寺	昭37. 12. 14
	書 跡 紙本墨書 平家物語(大前神社本)	11冊	東郷937	大前神社	昭42. 4. 7
	書 跡 版本 大般若經	586巻	東郷937	大前神社	昭42. 4. 7
	書 跡 紙本墨書 伊達綱村夫人自筆願文	1通	中556	中村八幡宮	昭46. 6. 25
	書 跡 不動明王立像胎内納入文書	3巻 610枚	寺内75	莊嚴寺	平 4. 2. 28
	考古資料 伝芳賀氏の墓石	7基	京泉	個 人	昭38. 11. 1
	建造物 海潮寺山門	1棟	田町2317	海潮寺	昭48. 8. 28
	建造物 大前神社両部鳥居	1基	東郷937	大前神社	昭56. 12. 25
	建造物 岡部記念館(金鈴荘)	1棟	荒町2096-1	真岡市	平12. 1. 14
	建造物 青銅造鳥居	1基	長沼1083	長沼八幡宮	昭45. 9. 1
民俗文化財	無形民俗 大日堂獅子舞		中郷4-2	大日堂獅子舞保存会	昭29. 9. 7
記念物	史 跡 瓢箪塚古墳	1基	八木岡	個 人	昭29. 3. 29
	史 跡 大内廃寺跡 附堂法田遺跡		京泉 京泉1149-2	個 人 真岡市	昭32. 6. 30
	史 跡 日光開山勝道上人誕生地		南高岡259	仏生寺	昭32. 6. 30
	史 跡 鶏塚古墳	1基	京泉	個 人	昭32. 8. 30
	史 跡 中村城跡		中2402	遍照寺	昭35. 6. 24
	史 跡 天神山古墳	1基	鹿163	南鹿自治会	昭40. 10. 5
	天然記念物 遍照寺のかや	1本	中2402	遍照寺	昭29. 3. 29
	天然記念物 太子の笠松	1本	亀山1-25-2	真岡市	昭33. 8. 29
	天然記念物 仏生寺のけやき	2本	南高岡259	仏生寺	昭34. 11. 27
	天然記念物 中村八幡宮の社叢	313本	中556	中村八幡宮	昭46. 6. 25
	天然記念物 北中里のエノキ	1本	中1133	北中里自治会	平 4. 2. 28
	天然記念物 専修寺のケヤキ	1本	高田1482	専修寺	昭50. 1. 28
	天然記念物 専修寺のシダレカツラ	1本	高田1482	専修寺	平10. 1. 16
	天然記念物 専修寺御殿のケヤキ・根上りのケヤキ	4本・1本	高田1482	専修寺	平10. 1. 16
	天然記念物 沖のケヤキ	1本	沖	大沖神社	昭40. 10. 5
	天然記念物 境のツツジ(ハナグルマ)	1本	境	個 人	昭41. 8. 23
	天然記念物 三谷のツバキ	1本	三谷	個 人	昭45. 9. 1

3. 真岡市指定文化財（143 件）

種 別	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
有形文化財	絵 画 絹本著色 鮎図 小泉斐筆	1 幅	台町	個 人	昭56. 10. 1
	絵 画 絹本淡彩 十六羅漢図 荒井寛方筆	双幅	台町	個 人	昭56. 10. 1
	絵 画 絹本淡彩 十六羅漢図 荒井寛方筆	1 幅	台町	個 人	昭56. 10. 1
	絵 画 紙本著色 日出鶴図六曲屏風 小宅文藻筆	1 双	荒町第二公民館	荒町第二町会内	昭56. 10. 1
	絵 画 絹本墨図 驟雨図 矢橋天籟筆	1 幅	荒町2162	真岡市	昭56. 10. 1
	絵 画 絹本墨図 寒村暮色図 矢橋天籟筆	1 幅	荒町2162	真岡市	昭56. 10. 1
	絵 画 絹本淡彩 農作業図 靄湖筆	1 枚	寺久保	個 人	昭61. 4. 15
	絵 画 紙本淡彩 風俗図 矢橋天籟筆	2 枚	寺久保	個 人	昭61. 4. 15
	絵 画 紙本著色 農作業図 六曲屏風	1 隻	上鷺谷	個 人	昭61. 4. 15
	絵 画 春日曼荼羅図	1 幅	中2402	遍照寺	平12. 1. 26
	絵 画 絹本墨画 夏景不二之図	1 幅	中	個 人	平17. 2. 25
	絵 画 紙本淡彩 地獄図	1 対	久下田801	芳全寺	昭51. 3. 22
	絵 画 絹本着色 寿老人図	3 幅対	久下田801	芳全寺	昭51. 3. 22
	絵 画 絹本着色 羽衣図		堀込	個 人	昭51. 3. 22
	絵 画 絹本着色 十二天将図	1 幅	長沼698	宗光寺	昭51. 3. 22
	絵 画 絹本着色 十三仏図	1 幅	県立博物館寄託	宗光寺	昭51. 3. 22
	絵 画 絹本着色 慈眼大師像	1 幅	久下田488	全水寺	平21. 1. 30
	彫 刻 木造 薬師如来立像	1 軀	島895-1	長泉寺薬師堂	昭53. 3. 20
	彫 刻 文宣王立像	1 軀	若旅	個 人	昭61. 4. 15
	彫 刻 弁財天半跏像	1 軀	荒町1037	長蓮寺	昭63. 7. 18
	彫 刻 十一面観音菩薩立像	1 軀	京泉	個 人	平元. 10. 19
	彫 刻 長蓮寺弁財天脇侍	17 軀	荒町1037	長蓮寺	平 2. 4. 6
	毘沙門天像大黒天像眷属15童子				
	彫 刻 木造 千手観音菩薩立像	1 軀	南高岡	個 人	平11. 1. 27
	彫 刻 木造 日光菩薩立像 月光菩薩立像	2 軀	南高岡259	仏生寺	平11. 1. 27
	彫 刻 木造 胎蔵界大日如来坐像	1 軀	中2402	遍照寺	平12. 1. 26
	彫 刻 木造 宝冠釈迦如来坐像	1 軀	八条194-2	政成寺	平20. 2. 20
	彫 刻 木造 阿弥陀如来坐像	1 軀	久下田	個 人	昭51. 3. 22
	彫 刻 木造 地蔵菩薩立像	1 軀	久下田801	芳全寺	昭51. 3. 22
	彫 刻 木造 薬師如来坐像	1 軀	長沼698	宗光寺	平21. 1. 30
	彫 刻 木造 山王神像	1 軀	久下田488	全水寺	平21. 1. 30
	彫 刻 木造 慈慧大師坐像	1 軀	久下田488	全水寺	平21. 1. 30
	彫 刻 木造 菩薩形立像	1 軀	中2402	遍照寺	平24. 3. 21
	彫 刻 銅造 釈迦誕生仏	1 軀	西郷997	西郷区	令 5. 12. 18
	工芸品 灰釉線文瓶	1 口	京泉	個 人	昭38. 12. 1
	工芸品 刀 無銘	1 口	東郷937	大前神社	昭41. 4. 4
	工芸品 天棚	1 台	下籠谷2550	神明宮	昭53. 3. 20
	工芸品 田町彫刻屋台	1 台	田町熊野女体神社	同巡行保存会	昭58. 9. 10
	工芸品 刀剣類 銘 相州住正俊		久下田	個 人	昭51. 3. 22
	工芸品 銅鏡		久下田	個 人	昭51. 3. 22

IV 資料編

種 別	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日	
有形文化財	典 籍	下野国誌初版本	12巻	荒町5191	真岡市	平17. 2. 25
	書 跡	熊野神社 大般若経	540巻	飯貝1097	熊野神社	平 2. 10. 17
	書 跡	遍照寺文書	6 通	中2402	遍照寺	平12. 1. 26
	書 跡	金剛院文書		堀込	個 人	昭51. 3. 22
	考古資料	石棒	1 基	東大島1179	西念寺	昭53. 3. 20
	考古資料	石造 重層塔	7 基	寺内75	莊厳寺	平15. 2. 19
	考古資料	芳賀氏の墓石	8 基	田町2317	海潮寺	平17. 2. 25
	考古資料	亮辯大和尚石塔	1 基	久下田488	全水寺	昭45. 6. 12
	考古資料	水谷蟠龍斎石塔	1 基	久下田804	芳全寺	昭45. 6. 12
	考古資料	権僧正謙慶石塔	1 基	長沼698	宗光寺	昭45. 6. 12
	考古資料	玄海僧正石塔	1 基	長沼698	宗光寺	昭45. 6. 12
	考古資料	ガラス小玉	10個	高田2645	真岡市	平26. 12. 18
	歴史資料	板碑	1 基	東沼	個 人	昭40. 5. 19
	歴史資料	竹垣君徳政碑	1 基	田町2317	海潮寺	昭48. 9. 22
	歴史資料	元禄絵図	1 枚	東郷937	大前神社	昭53. 3. 20
	歴史資料	紙本著色 竹垣公陣屋絵図	1 幅	勝瓜	個 人	昭58. 9. 10
	歴史資料	山内明府功德之碑	1 基	東郷937	大前神社	昭61. 4. 15
	歴史資料	草刈場取決め絵図	1 幅	上鷲谷	個 人	昭61. 4. 15
	歴史資料	草刈場取決め絵図	1 幅	下籠谷	個 人	昭61. 4. 15
	歴史資料	石燈籠	1 基	下籠谷41	真岡市	平13. 2. 28
	歴史資料	田中正造墨跡	1 幅	荒町2162	真岡市	平15. 2. 19
	歴史資料	西郷大島家（のろし場）絵図	1 幅	西郷	個 人	平17. 2. 25
	歴史資料	松寿堂庭上之松	1 幅	荒町	個 人	平24. 3. 21
	建造物	国誌堂 附下野国誌記徳の碑	1棟1基	中	個 人	昭40. 5. 19
	建造物	稲荷神社本殿	1 棟	君島259	稲荷神社	昭48. 1. 9
	建造物	海潮寺お霊屋	1 棟	田町2317	海潮寺	昭48. 9. 22
	建造物	稲荷神社本殿	1 棟	柳林155	稲荷神社	昭53. 3. 20
	建造物	石造鳥居	1 基	飯貝1097	熊野神社	昭53. 3. 20
	建造物	中村八幡宮本殿	1 棟	中556	中村八幡宮	平元. 6. 15
	建造物	仏生寺薬師堂（勝道院）	1 棟	南高岡259	仏生寺	平元. 6. 15
	建造物	鹿島神社本殿	1 棟	西田井1071-1	鹿島神社	平元. 6. 15
	建造物	十二社神社本殿	1 棟	西田井44	十二社神社	平元. 6. 15
	建造物	熊野神社本殿	1 棟	飯貝1097	熊野神社	平元. 6. 15
	建造物	雷神社（別雷神社）本殿	1 棟	西郷998	雷神社	平元. 10. 19
	建造物	星ノ宮神社本殿	1 棟	中890	星ノ宮神社	平元. 10. 19
	建造物	能仁寺の釈迦堂	1 棟	根本55	能仁寺	平 2. 6. 21
	建造物	山王堂	1 棟	寺内75	莊厳寺	平 2. 10. 17
	建造物	荒檀神社本殿	1 棟	八木岡273	荒檀神社	平 9. 2. 14
	建造物	不動堂	1 棟	中2402	遍照寺	平12. 1. 26
	建造物	道祖神社本殿	1 棟	道祖土	個 人	平20. 2. 20
建造物	隨身門		長沼1083	長沼八幡宮	昭45. 6. 12	
建造物	本殿・幣殿・拝殿		長沼1083	長沼八幡宮	昭45. 6. 12	
建造物	熊野女体神社本殿	1等	台町2459	熊野女体神社	令 3. 9. 22	

IV 資料編

種 別	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日	
有形文化財	建造物	境内社熊野神社	1 棟	長沼1083	長沼八幡宮	平19. 3. 27
	建造物	境内社日光神社	1 棟	長沼1083	長沼八幡宮	平19. 3. 27
	建造物	山門	1 棟	久下田801	芳全寺	昭45. 6. 12
	建造物	総門	1 棟	久下田801	芳全寺	昭45. 6. 12
	建造物	楼門	1 棟	大根田545	福聚寺	昭42. 11. 16
	建造物	大門	1 棟	長沼698	宗光寺	昭45. 6. 12
	建造物	新御堂	1 棟	長沼698	宗光寺	昭45. 6. 12
	建造物	鐘楼	1 棟	長沼698	宗光寺	昭45. 6. 12
	建造物	横田星宮神社本殿	1 棟	横田581	星宮神社	平19. 3. 27
	建造物	千代ヶ岡八幡宮本殿	1 棟	久下田1692	千代ヶ岡八幡宮	平19. 3. 27
民俗文化財	有形民俗	熊野神社の神楽面	21面	飯貝1097	熊野神社	昭48. 1. 9
	有形民俗	長田の追分地蔵	3 軀	長田	個 人	昭50. 3. 19
	有形民俗	算額	2 枚	東郷937	大前神社	昭53. 3. 20
	有形民俗	算額	1 枚	飯貝1097	熊野神社	昭53. 3. 20
	有形民俗	絵本墨書 大日堂獅子舞仕法絵巻物	1 巻	中郷	中郷区	昭61. 4. 15
	有形民俗	寺久保十九夜供養塔	1 基	寺久保1-6-7	寺久保八幡宮 氏子会	平 9. 2. 14
	有形民俗	永代大大御神楽之碑	1 基	東郷937	大前神社	平15. 2. 19
	有形民俗	獅子頭・木造両部大日如来像 （大日堂獅子舞関連物）	3頭・2軀	中郷4-1	中郷自治会	平20. 2. 20
	無形民俗	大前神社大大神楽		東郷	大前神社大大神楽宮毘講	平 5. 3. 11
	無形民俗	三ノ宮神社太々神楽		小林	三ノ宮神社太々神楽保存会	平 5. 3. 11
	無形民俗	熊野神社太々神楽		飯貝	熊野神社太々神楽保存会	平 5. 3. 11
	無形民俗	京泉相宮神社大大神楽		京泉	京泉相宮神社大大神楽保存会	平 5. 3. 11
	無形民俗	中村八幡宮太々神楽		中	中村八幡宮太々神楽保存会	平 5. 3. 11
	無形民俗	西田井八社五社		西田井	西田井八社五社保存会	平 5. 3. 11
	無形民俗	南中里大蛇つなひき		中	南中里大蛇つなひき保存会	平 7. 2. 7
	無形民俗	長沼八幡宮永代太々神楽		長沼1059	長沼八幡宮永代太々神楽保存会	昭51. 3. 22
記 念 物	史 跡	光明寺節婦の墓		若旅	個 人	昭40. 5. 19
	史 跡	磯山遺跡		東大島	個 人	昭41. 4. 4
	史 跡	満川日湖の墓	1 基	田町	個 人	昭41. 8. 9
	史 跡	小山春山贈位の碑	1 基	荒町	個 人	昭41. 8. 9
	史 跡	南高岡の古代窯跡	6 基	南高岡	個 人	昭50. 3. 19
	史 跡	稻荷山遺跡		高勢町3-1-1	真岡市	平 4. 3. 13
	史 跡	神宮寺塚古墳	1 基	根本1068-1	真岡市	平 4. 3. 13
	史 跡	山崎古墳群（1. 3. 4号墳） （2号墳）	4 基	根本215 根本	真岡市 個 人	平 4. 3. 13
	史 跡	中村大塚古墳	1 基	中562-2	中村八幡宮	平 4. 3. 13
	史 跡	真岡城跡		台町4184他	真岡市	平13. 2. 28
	史 跡	真岡陣屋跡		台町4167-1他	真岡市	平13. 2. 28
	史 跡	源朝臣忠寛君之墓 （双樹堂塾主風野忠寛の墓碑）	1 基	東郷	個 人	平20. 2. 20
	史 跡	円墳		鹿	個 人	昭45. 6. 12
	史 跡	河野守弘の墓	1 基	大道泉242-1	大道泉自治会	昭51. 3. 22
	史 跡	二宮金次郎墓域		物井102	蓮城院	昭57. 7. 21
	史 跡	明治天皇御駐ひつの地		境495	神明神社	昭42. 11. 16
	史 跡	弁天山古墳		古山	古山星宮神社	昭51. 3. 22

IV 資料編

種別	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日	
記念物	天然記念物	無量寿寺のけやき	1本	下籠谷728	無量寿寺	昭38.12. 1
	天然記念物	石法寺のかや	1本	下籠谷	個 人	昭41. 8. 9
	天然記念物	四季咲ツバキ	1本	東大島1179	西念寺	昭53. 3. 20
	天然記念物	ハリギリ	1本	道祖土	個 人	昭53. 3. 20
	天然記念物	ハルニレ	1本	道祖土	個 人	昭53. 3. 20
	天然記念物	ナツグミ	1本	中560	中村八幡宮	昭53. 3. 20
	天然記念物	ツバキ	1本	熊倉	個 人	昭63.10.29
	天然記念物	真岡小学校のトチュウ	1本	台町4184	真岡市	平 2. 6. 21
	天然記念物	東大島のアメリカキササゲ	1本	東大島818-4	真岡市	平 2. 6. 21
	天然記念物	仏生寺のエドヒガン	2本	南高岡1397-1	仏生寺	平13. 2. 28
	天然記念物	オオバン繁殖地及びオオキトンボ マダラヤンマ生息地	1カ所	若旅1188外	真岡市	平15. 2. 19
	天然記念物	タブノキ	1本	西郷	個 人	平17. 2. 25
	天然記念物	芳全寺のシダレザクラ	1本	久下田801	芳全寺	昭57. 3. 18
	天然記念物	久下田小学校のイチヨウ	1本	久下田507	久下田小学校	昭51. 3. 22
	天然記念物	宗光寺の銀杏樹	1本	長沼1771	宗光寺	昭45. 6. 12
	天然記念物	高門のモチ	1本	物井	個 人	昭51. 3. 22
	天然記念物	中村八幡宮のカシワ	1本	中560	中村八幡宮	平26.12.18
無形文化財	無形文化財	美術日本刀鍛錬関連技		大根田	個 人	昭51. 3. 22

登録文化財

1. 国登録文化財（2 件）

名 称	員数	構 造	所在地	所有者（管理者）	登録年月日
真岡市久保講堂 (旧真岡小学校久保講堂)	1 棟	木造 2 階建左右塔屋付、瓦葺 建築面積651㎡	田町1345-1	真岡市	平 9. 5. 7
真岡高校記念館	1 棟	木造 2 階建、瓦葺 建築面積744㎡	白布ヶ丘24-1	栃木県	平10. 7. 23

2. 真岡市登録文化財（14 件）

名 称	員数	構 造	所在地	所有者（管理者）	登録年月日
柴家薬医門	1棟	木造平屋建 間口 2.56m、奥行 2.20m	若旅	個人	平11. 1. 27
横松家角積蔵	1棟	木造 2 階建 間口 7.26m、奥行 6.40m	中	個人	平11. 1. 27
高松家長屋門	1棟	木造平屋建 間口 33.67m、奥行 5.46m	道祖土	個人	平11. 1. 27
旧下野紡績所建物	1棟	石造平屋建 間口 21.80m、奥行 11.00m	台町	個人	平11. 1. 27
旧大内村役場	1棟	鉄筋コンクリート造 2 階建 間口 13.05m、奥行 12.92m	飯貝478	真岡市	平11. 1. 27
仲島家本宅長屋門	1棟	木造平屋建 間口 19.17m、奥行 4.55m	熊倉	個人	平12. 1. 26
仲島家新宅長屋門	1棟	木造平屋建 間口 17.29m、奥行 4.90m	熊倉	個人	平12. 1. 26
水澤家長屋門	1棟	木造平屋建 間口 20.55m、奥行 4.73m	熊倉	個人	平12. 1. 26
小松家長屋門	1棟	木造平屋建 間口 15.50m、奥行 4.55m	熊倉	個人	平12. 1. 26
五行川(勤行川)鉄橋	1基	ダブルワーレントラス橋 幅 5.30m、長さ 30.30m	東郷地内	真岡鐵道(株)	平12. 1. 26
藤井家石蔵	1棟	石造 2 階建 桁行 4.90m、梁間 3.90m	東大島	個人	平13. 2. 28
金鈴荘石堀		長さ148m、高さ2.88m	荒町2162	真岡市	平13. 2. 28
中村八幡宮神楽殿	1 棟	木造平屋建 舞台 15尺（4.55m）四方	中556	中村八幡宮	平17. 2. 25
久保記念館	1 棟	木造 2 階建、瓦葺、切妻造 間口9.555m、奥行11.830m	荒町1105番地1	真岡市	平27. 10. 22

附属機関

学校教育

1. 学校教育関係附属機関

❖ 真岡市立小・中学校学区審議会

(設 置 根 拠)	真岡市立小・中学校学区審議会条例
(所 掌 事 項)	真岡市教育委員会の諮問に応じ、真岡市立小・中学校の学区に関する事項を調査、審議する。
(定 数 及 び 任 期)	20人以内 2年
(構 成)	市議会の議員、自治会の代表、関係団体の代表、学識経験者
(所 管 課)	学校教育課

❖ 真岡市教育支援委員会

(設 置 根 拠)	学校教育法施行令第18条の2 真岡市教育支援委員会規則
(所 掌 事 項)	教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について答申する。 ・障害児の適切な教育的措置に関すること。 ・就学義務の猶予又は免除の措置に関すること。
(定 数 及 び 任 期)	20人以内 2年
(構 成)	専門医師、教育関係職員、福祉関係職員、保健関係職員
(所 管 課)	学校教育課

❖ 真岡市学校給食センター整備審議会

(設 置 根 拠)	真岡市学校給食センター整備審議会設置要綱
(所 掌 事 項)	真岡市学校給食センター整備基本計画に基づく施設の整備において、関係者から整備に関する意見を求める。
(定 数 及 び 任 期)	9人以内 委嘱した日から規定する事務が終了する日まで
(構 成)	学識経験者、各種団体等の代表者、市議会議員、教育委員、市内小中学校長会長、教育長、総務部長
(所 管 課)	第一学校給食センター

社会教育

1. 社会教育関係附属機関

❖ 真岡市社会教育委員

(設 置 根 拠)	社会教育法第15条及び第18条 真岡市社会教育委員条例
(所 掌 事 項)	社会教育法第17条第1項に定める事項(社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会への意見具申、その他必要な研究調査)
(定 数 及 び 任 期)	20人以内 2年
(構 成)	学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者
(所 管 課)	生涯学習課

❖ 真岡市公民館運営審議会委員

(設 置 根 拠)	社会教育法第29条 真岡市公民館の設置及び管理条例15条
(所 掌 事 項)	社会教育法第29条第2項に定める事項(館長の諮問に応じたの公民館における各種の事業の企画実施についての調査審議)
(定 数 及 び 任 期)	20人以内 2年
(構 成)	学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者
(所 管 課)	生涯学習課

❖ 真岡市生涯学習推進会議委員

(設 置 根 拠)	真岡市生涯学習推進会議設置要綱
(所 掌 事 項)	生涯学習推進事業について有識者から広く意見を求める。
(定 数 及 び 任 期)	10人以内 2年
(構 成)	市議会議員、学識経験者、関係機関及び関係団体から推薦を受けた者、公募により選出された者
(所 管 課)	生涯学習課

❖ 真岡市図書館協議会

(設 置 根 拠)	図書館法第14条第1項 真岡市立図書館並びに真岡市立二宮図書館の設置及び管理条例第6条
(所 掌 事 項)	図書館法第14条第2項に定める事項(館長の諮問に応じた意見具申、図書館の行う図書館奉仕についての意見具申等)
(定 数 及 び 任 期)	10人以内 2年
(構 成)	学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者
(所 管 課)	生涯学習課

❖ 真岡市青少年問題協議会

(設 置 根 拠)	真岡市附属機関に関する条例第2条 真岡市青少年問題協議会設置規則
(所 掌 事 項)	真岡市青少年問題協議会の組織及び運営について必要な事項を定める。
(定 数 及 び 任 期)	20人以内 2年
(構 成)	関係行政機関職員、学識経験者
(所 管 課)	生涯学習課

❖ 真岡市少年指導センター運営協議会

(設 置 根 拠)	真岡市少年指導センター設置条例第4条
(所 掌 事 項)	教育委員会の諮問に応じ、指導センターの事業の企画実施に関して調査審議する。
(定 数 及 び 任 期)	20人以内 2年
(構 成)	関係各行政機関職員、学識経験者
(所 管 課)	真岡市少年指導センター

❖ 真岡市文化財保護審議会

(設 置 根 拠)	文化財保護法第190条第1項 真岡市文化財保護条例第43条
(所 掌 事 項)	文化財保護法第190条第2項に定める事項(教育委員会の諮問に応じた、文化財の保存及び活用に関する重要事項の調査審議・答申及び建議)
(定 数 及 び 任 期)	5人 2年
(構 成)	文化に関し、広くかつ高い識見を有する者
(所 管 課)	文化課

❖ 真岡市文化財調査員

(設 置 根 拠)	真岡市文化財調査員設置規則
(所 掌 事 項)	文化財の調査に関する事項を担当するとともに、真岡市文化財保護審議会への助言を行う。
(定 数 及 び 任 期)	12人以内 2年
(構 成)	文化財に関し高い識見を有する者
(所 管 課)	文化課

❖ 真岡市民会館運営審議会

(設 置 根 拠)	真岡市市民会館条例第13条
(所 掌 事 項)	市民会館の運営に関し、教育委員会の諮問に対する答申・建議を行う。
(定 数 及 び 任 期)	10人以内 2年
(構 成)	市議会議員、学識経験者
(所 管 課)	文化課

❖ 真岡市スポーツ推進委員

(設 置 根 拠)	スポーツ基本法第32条第1項 真岡市スポーツ推進委員に関する規則
(所 掌 事 項)	スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。
(定 数 及 び 任 期)	30人以内 2年
(構 成)	社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者
(所 管 課)	スポーツ振興課



NO.1 ICHIGO CITY
MOKA
ナンバーワンでオンリーワン

令和6年度版 真岡市の教育

編集・発行

真岡市教育委員会 学校教育課

〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191 番地

電話 0285-81-9052(学校教育課 教育政策係直通)